


# 企業経営者意識調査

## 概況（令和6年4-6月）

P 1

## 調査結果

- |   |               |      |
|---|---------------|------|
| 1 | 経営状況          | P 3  |
| 2 | 雇用状況          | P 7  |
| 3 | 在庫、価格水準       | P 11 |
| 4 | 設備投資の状況       | P 13 |
| 5 | 地域別にみる各産業の動向  | P 15 |
| 6 | 道内の景況感        | P 23 |
| 7 | 業種・地域別企業経営者の声 | P 24 |
| 8 | 業況感の長期推移      | P 28 |
- 

## 特別調査

- |   |                   |      |
|---|-------------------|------|
| 1 | 原油・原材料価格高騰の影響について | P 29 |
| 2 | 人手不足の状況について       | P 30 |
| 3 | 賃金引き上げの状況について     | P 33 |

## 調査方法

P 36

# 1

## 概況(令和6年4-6月)

■ 調査対象企業数は900社、回答者数は480社、回答率は53.3%

(1) 業況感BSIは、前期から6ポイント下降し、 $\Delta 13$ ポイント。来期の見通しは $\Delta 10$ ポイント。

(2) 売上(生産)高BSIは、前期から6ポイント下降し、 $\Delta 11$ ポイント。

経常利益BSIは、前期から1ポイント下降し、 $\Delta 18$ ポイント。

(3) 資金繰りBSIは、前期から横ばいで、 $\Delta 9$ ポイント。

(4) 雇用者の不足感BSIは、前期から3ポイント下降し、48ポイント。

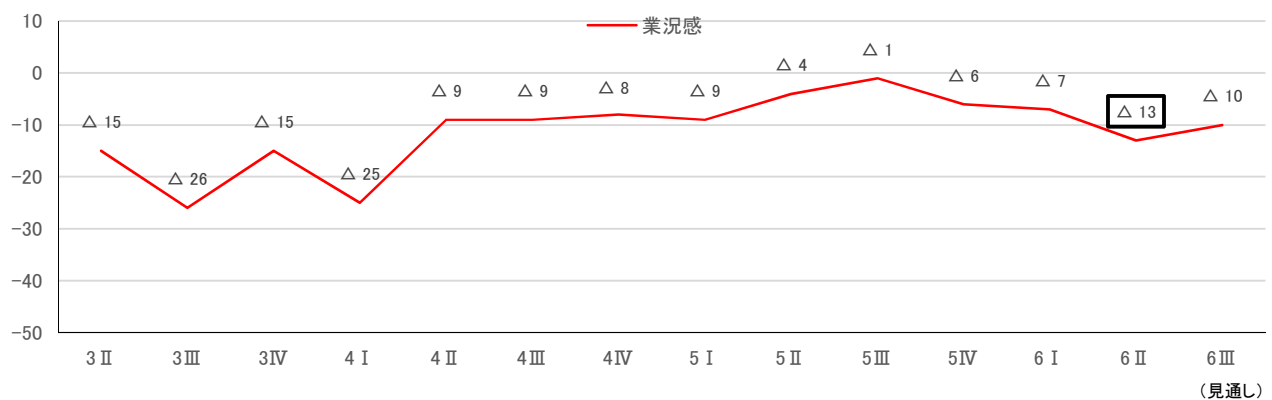
(5) 1人当たりの賃金BSIは、前期から10ポイント上昇し、64ポイント。

(6) 仕入価格(原材料)[製造業]BSIは、前期から11ポイント上昇し、74ポイント。

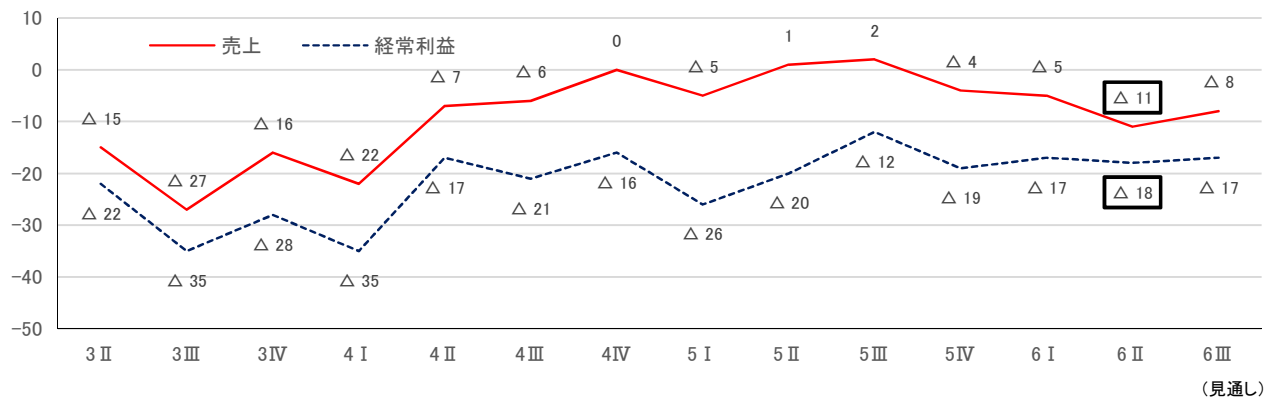
(7) 仕入価格(商品)[卸売・小売業]BSIは、前期から4ポイント上昇し、84ポイント。

(8) 道内の景況感BSIは、前期から3ポイント上昇し、 $\Delta 12$ ポイント。

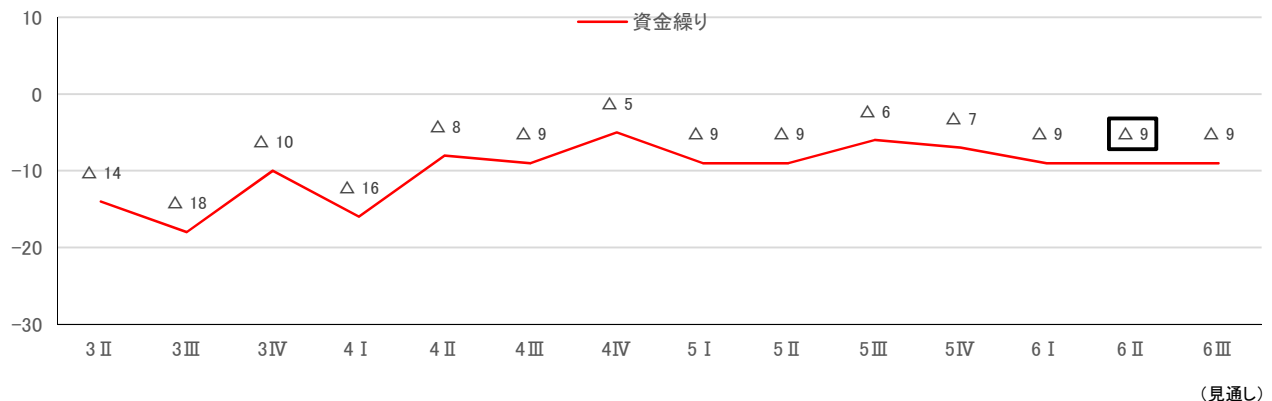
(1) 業況感(「上昇」-「下降」)



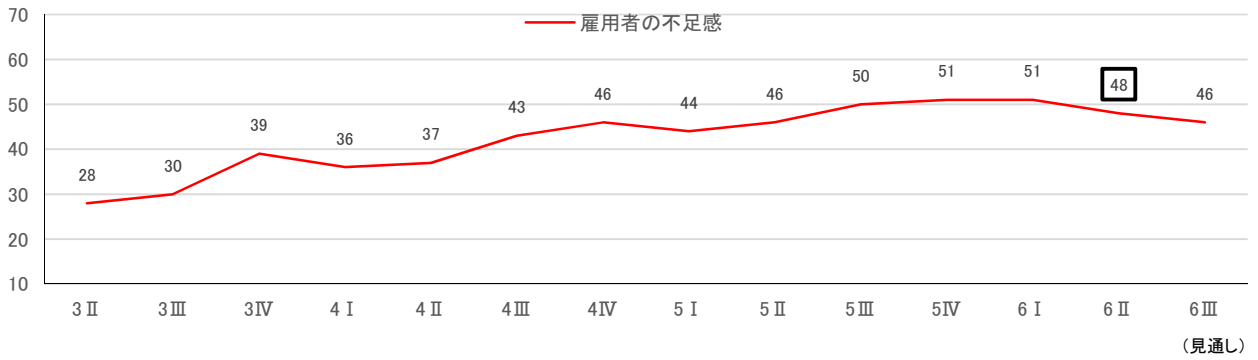
(2) 売上・経常利益(「増加」-「減少」)



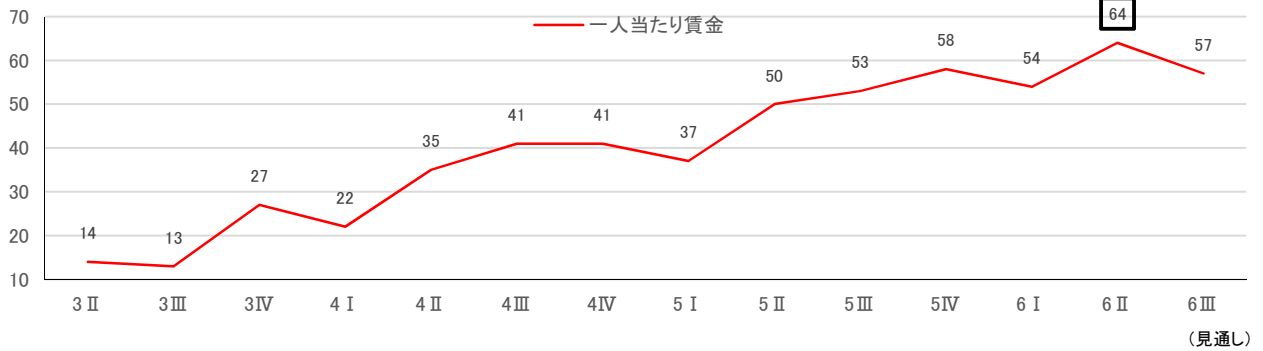
(3) 資金繰り(「改善」-「悪化」)



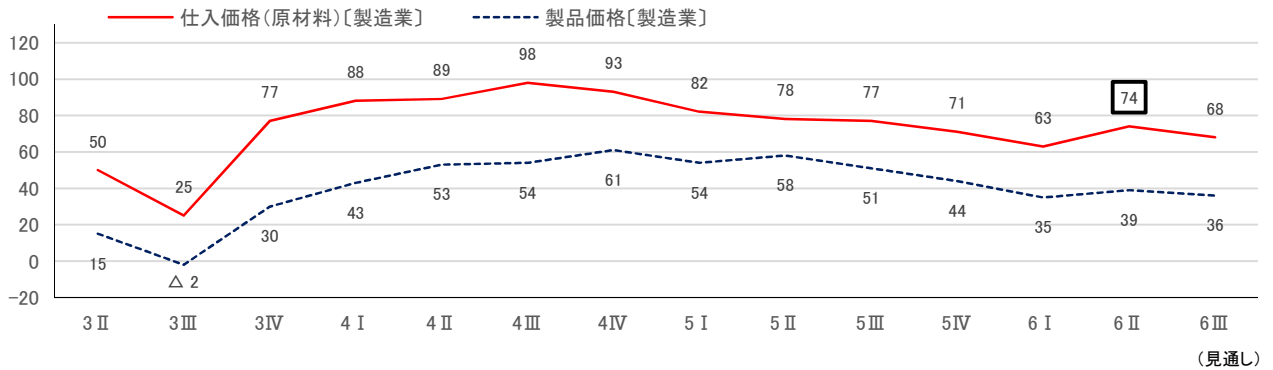
(4) 雇用者の不足感(「不足」-「過剰」)



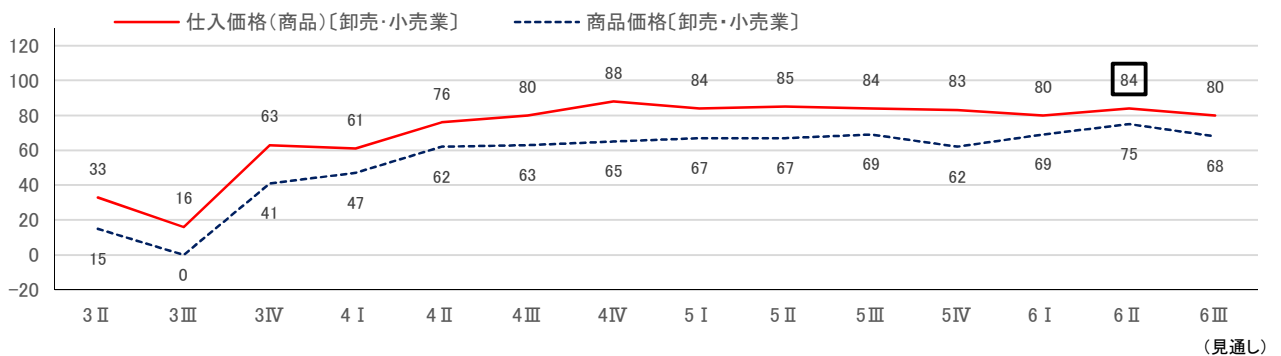
(5) 1人当たりの賃金(「増加」-「減少」)



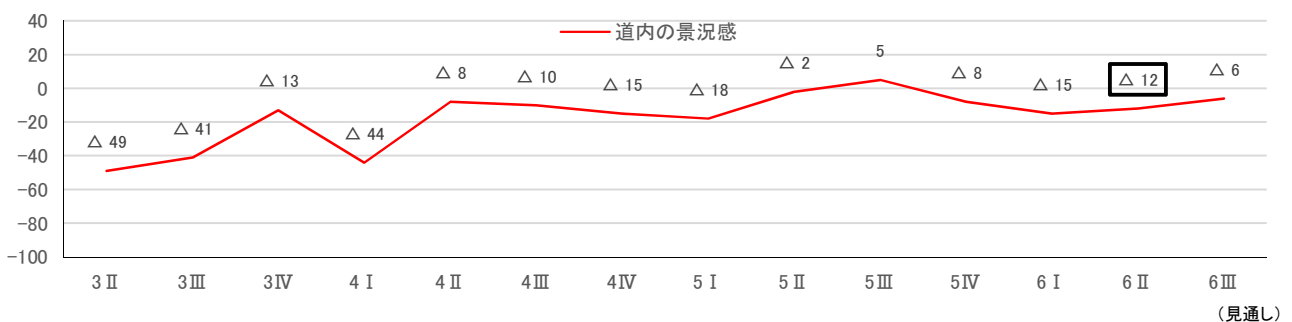
(6) 仕入価格(原材料)・製品価格[製造業](「上昇」-「下降」)



(7) 仕入価格(商品)・商品価格[卸売・小売業](「上昇」-「下降」)



(8) 道内の景況感(「上昇」-「下降」)



## 2 調査結果

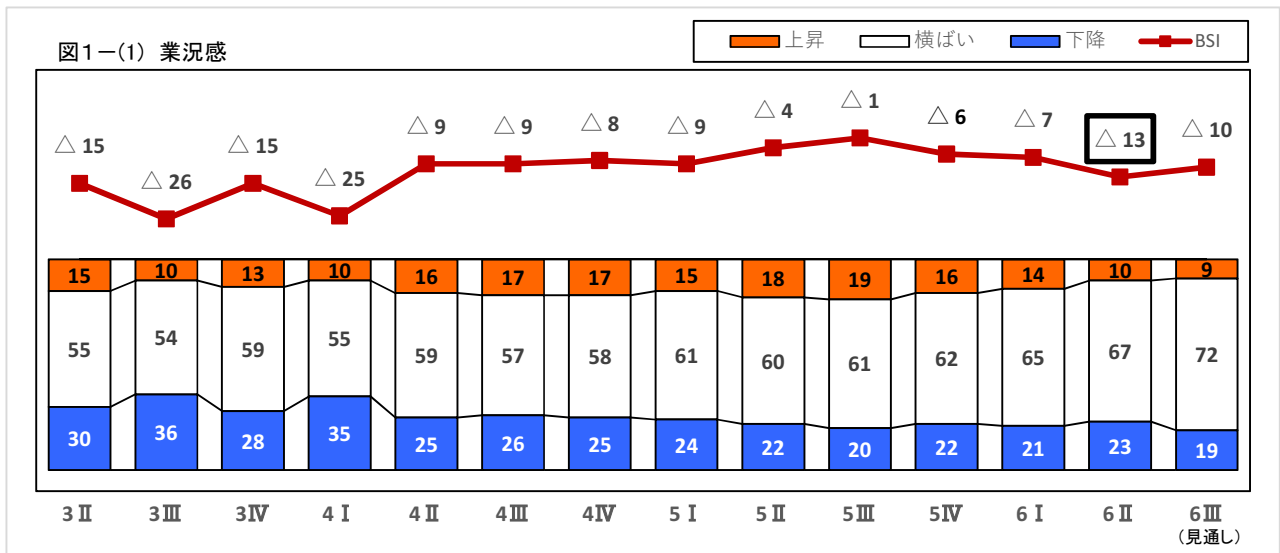
### 1 経営状況

#### (1) 業況感

##### 今期の業況感BSIは△13(前期から6ポイント下降)

- 業種別にみると、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業はプラス幅が縮小。
- 地域別にみると、道南はマイナスに転換、道央、道北、十勝はマイナス幅が拡大、オホーツクは横ばい、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

##### 来期の業況感BSIは△10(今期から3ポイント上昇)



※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

表1-(1) 業況感(業種・資本金・地域別)

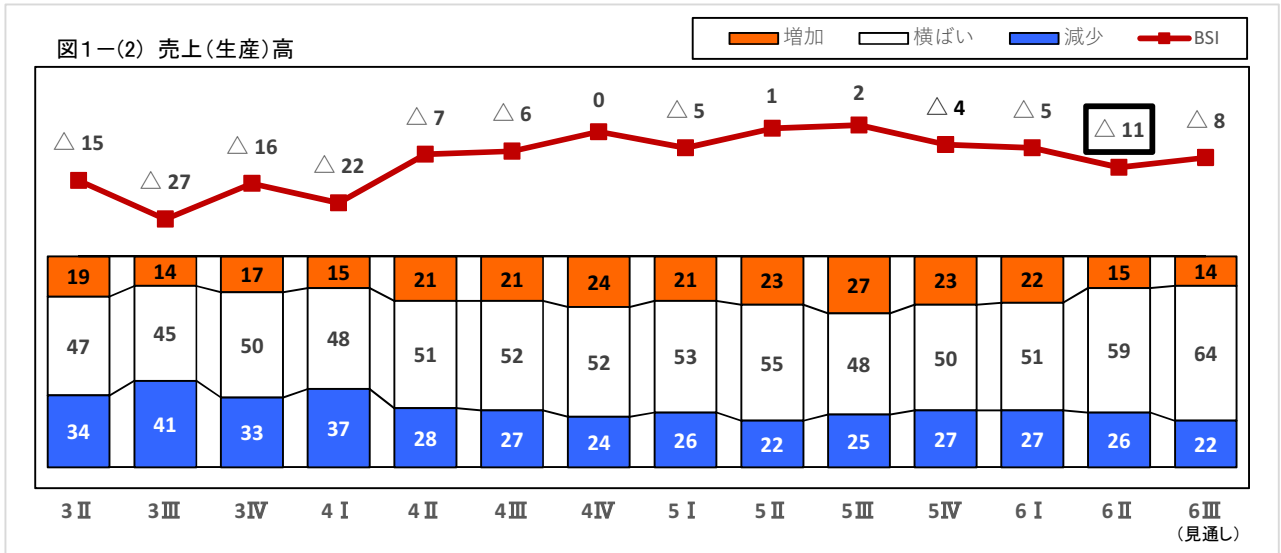
区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△ 7	10	67	23	△ 13	△ 6	9	72	19	△ 10	3
札幌市を除く	△ 10	9	66	25	△ 16	△ 6	9	71	20	△ 11	5
札幌市	5	12	72	16	△ 4	△ 9	12	71	17	△ 5	△ 1
業種											
建設業	△ 15	9	71	20	△ 11	4	6	73	21	△ 15	△ 4
製造業	△ 18	7	64	29	△ 22	△ 4	10	74	16	△ 6	16
卸売・小売業	△ 11	7	58	35	△ 28	△ 17	6	65	29	△ 23	5
運輸業	△ 6	7	71	22	△ 15	△ 9	6	75	19	△ 13	2
サービス業	7	16	71	13	3	△ 4	14	72	14	0	△ 3
資本金											
5千万円未満	△ 11	7	68	25	△ 18	△ 7	8	70	22	△ 14	4
5千万円以上~1億円未満	△ 11	17	61	22	△ 5	6	9	78	13	△ 4	1
1億円以上	13	13	72	15	△ 2	△ 15	15	73	12	3	5
地域											
道南	0	11	70	19	△ 8	△ 8	6	75	19	△ 13	△ 5
道央	△ 4	13	67	20	△ 7	△ 3	12	69	19	△ 7	0
札幌市を除く	△ 13	15	61	24	△ 9	4	14	64	22	△ 8	1
札幌市	5	12	72	16	△ 4	△ 9	12	71	17	△ 5	△ 1
道北	△ 4	7	63	30	△ 23	△ 19	8	74	18	△ 10	13
オホーツク	△ 25	8	59	33	△ 25	0	10	62	28	△ 18	7
十勝	△ 5	7	69	24	△ 17	△ 12	7	78	15	△ 8	9
釧路・根室	△ 20	4	74	22	△ 18	2	2	78	20	△ 18	0

(2) 売上(生産)高

**今期の売上(生産)高BSIは△11(前期から6ポイント下降)**

- ・ 業種別で見ると、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業はプラス幅が縮小。
- ・ 地域別で見ると、道南はマイナスに転換、道央、道北、オホーツクはマイナス幅が拡大、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

**来期の売上(生産)高BSIは△8(今期から3ポイント上昇)**



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表1-2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

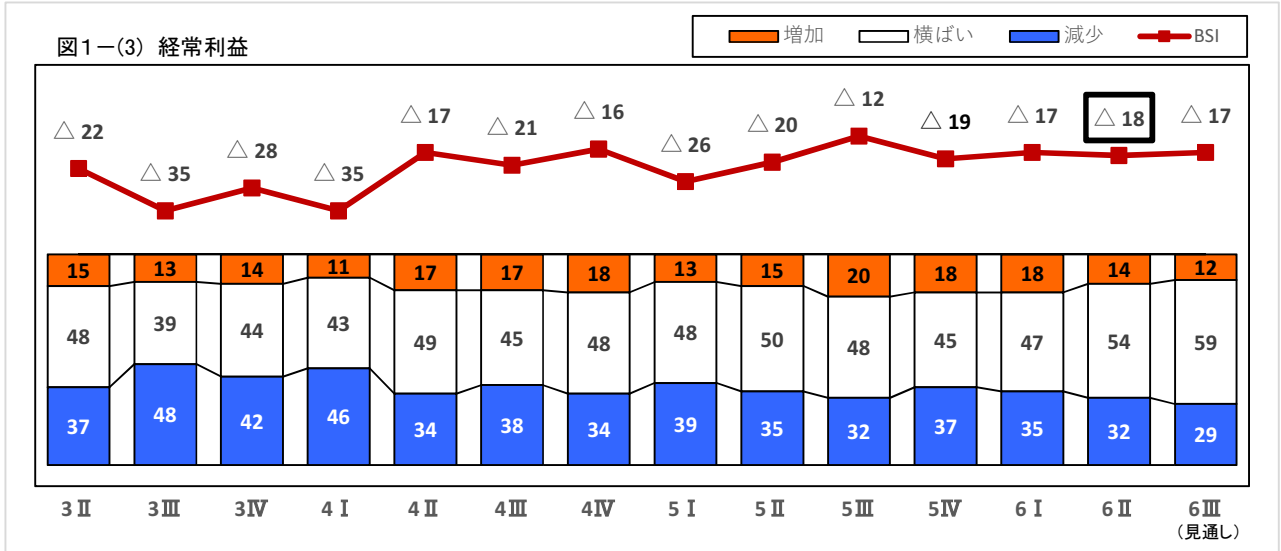
区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 5	15	59	26	△ 11	△ 6	14	64	22	△ 8	3
札幌市を除く	△ 9	14	58	28	△ 14	△ 5	15	62	23	△ 8	6
札幌市	9	19	62	19	0	△ 9	14	67	19	△ 5	△ 5
業種											
建設業	△ 12	16	62	22	△ 6	6	5	70	25	△ 20	△ 14
製造業	△ 11	15	52	33	△ 18	△ 7	15	65	20	△ 5	13
卸売・小売業	△ 5	14	52	34	△ 20	△ 15	15	55	30	△ 15	5
運輸業	△ 8	9	66	25	△ 16	△ 8	9	65	26	△ 17	△ 1
サービス業	5	19	62	19	0	△ 5	23	62	15	8	8
資本金											
5千万円未満	△ 9	11	61	28	△ 17	△ 8	15	60	25	△ 10	7
5千万円以上~1億円未満	△ 8	26	46	28	△ 2	6	13	67	20	△ 7	△ 5
1億円以上	15	19	66	15	4	△ 11	16	71	13	3	△ 1
地域											
道南	9	17	58	25	△ 8	△ 17	13	64	23	△ 10	△ 2
道央	△ 1	19	59	22	△ 3	△ 2	16	64	20	△ 4	△ 1
札幌市を除く	△ 13	20	54	26	△ 6	7	18	62	20	△ 2	4
札幌市	9	19	62	19	0	△ 9	14	67	19	△ 5	△ 5
道北	△ 9	8	58	34	△ 26	△ 17	14	58	28	△ 14	12
オホーツク	△ 19	10	57	33	△ 23	△ 4	18	47	35	△ 17	6
十勝	△ 14	13	63	24	△ 11	3	19	64	17	2	13
釧路・根室	△ 14	15	59	26	△ 11	3	4	76	20	△ 16	△ 5

(3) 経常利益

**今期の経常利益BSIは△18(前期から1ポイント下降)**

- ・ 業種別で見ると、建設業、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業、運輸業、サービス業はマイナス幅が拡大。
- ・ 地域別で見ると、道南、道北、オホーツク、十勝はマイナス幅が拡大、道央、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

**来期の経常利益BSIは△17(今期から1ポイント上昇)**



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

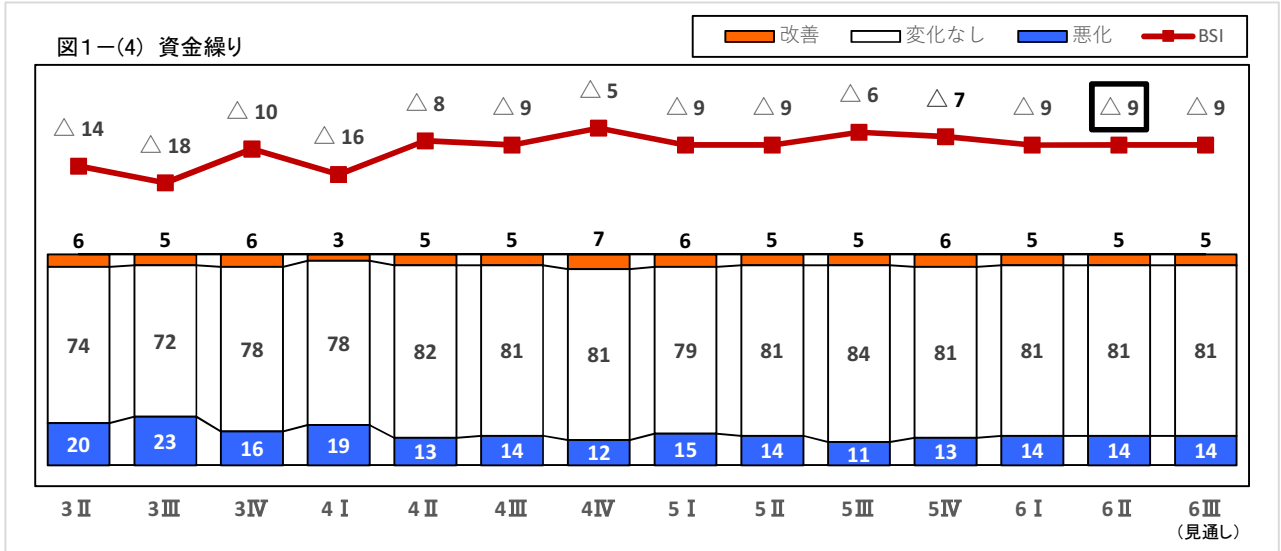
区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 17	14	54	32	△ 18	△ 1	12	59	29	△ 17	1
札幌市を除く	△ 19	13	53	34	△ 21	△ 2	12	57	31	△ 19	2
札幌市	△ 9	16	57	27	△ 11	△ 2	13	66	21	△ 8	3
業種											
建設業	△ 26	15	59	26	△ 11	15	4	62	34	△ 30	△ 19
製造業	△ 20	17	52	31	△ 14	6	15	60	25	△ 10	4
卸売・小売業	△ 17	10	47	43	△ 33	△ 16	9	59	32	△ 23	10
運輸業	△ 14	7	54	39	△ 32	△ 18	9	55	36	△ 27	5
サービス業	△ 9	17	56	27	△ 10	△ 1	19	59	22	△ 3	7
資本金											
5千万円未満	△ 22	8	58	34	△ 26	△ 4	11	58	31	△ 20	6
5千万円以上~1億円未満	△ 15	24	46	30	△ 6	9	11	60	29	△ 18	△ 12
1億円以上	2	25	50	25	0	△ 2	15	67	18	△ 3	△ 3
地域											
道南	△ 5	11	59	30	△ 19	△ 14	6	64	30	△ 24	△ 5
道央	△ 13	19	51	30	△ 11	2	14	63	23	△ 9	2
札幌市を除く	△ 19	23	44	33	△ 10	9	16	59	25	△ 9	1
札幌市	△ 9	16	57	27	△ 11	△ 2	13	66	21	△ 8	3
道北	△ 21	8	53	39	△ 31	△ 10	14	47	39	△ 25	6
オホーツク	△ 30	3	62	35	△ 32	△ 2	8	54	38	△ 30	2
十勝	△ 25	7	58	35	△ 28	△ 3	15	52	33	△ 18	10
釧路・根室	△ 20	17	53	30	△ 13	7	7	69	24	△ 17	△ 4

(4) 資金繰り

**今期の資金繰りBSIは△9(前期から横ばい)**

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大。
- ・ 地域別にみると、道南、道北、釧路・根室はマイナス幅が拡大、道央、オホーツク、十勝はマイナス幅が縮小。

**来期の資金繰りBSIは△9(今期から横ばい)**



※「改善」「変化なし」「悪化」は%、BSIはポイント(「改善」-「悪化」)

表1-4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総計	△9	5	81	14	△9	0	5	81	14	△9	0
札幌市を除く	△10	4	80	16	△12	△2	4	81	15	△11	1
札幌市	△5	8	81	11	△3	2	5	83	12	△7	△4
業種											
建設業	△11	9	80	11	△2	9	6	83	11	△5	△3
製造業	△12	6	85	9	△3	9	4	86	10	△6	△3
卸売・小売業	△9	3	77	20	△17	△8	2	79	19	△17	0
運輸業	△2	1	79	20	△19	△17	1	82	17	△16	3
サービス業	△9	6	80	14	△8	1	7	79	14	△7	1
資本金											
5千万円未満	△12	3	78	19	△16	△4	4	78	18	△14	2
5千万円以上~1億円未満	△5	13	82	5	8	13	5	87	8	△3	△11
1億円以上	△2	4	89	7	△3	△1	7	90	3	4	7
地域											
道南	△3	6	79	15	△9	△6	4	79	17	△13	△4
道央	△9	7	81	12	△5	4	6	83	11	△5	0
札幌市を除く	△14	6	80	14	△8	6	7	84	9	△2	6
札幌市	△5	8	81	11	△3	2	5	83	12	△7	△4
道北	△9	4	77	19	△15	△6	7	77	16	△9	6
オホーツク	△11	3	84	13	△10	1	0	87	13	△13	△3
十勝	△15	6	79	15	△9	6	2	81	17	△15	△6
釧路・根室	△6	0	80	20	△20	△14	2	78	20	△18	2

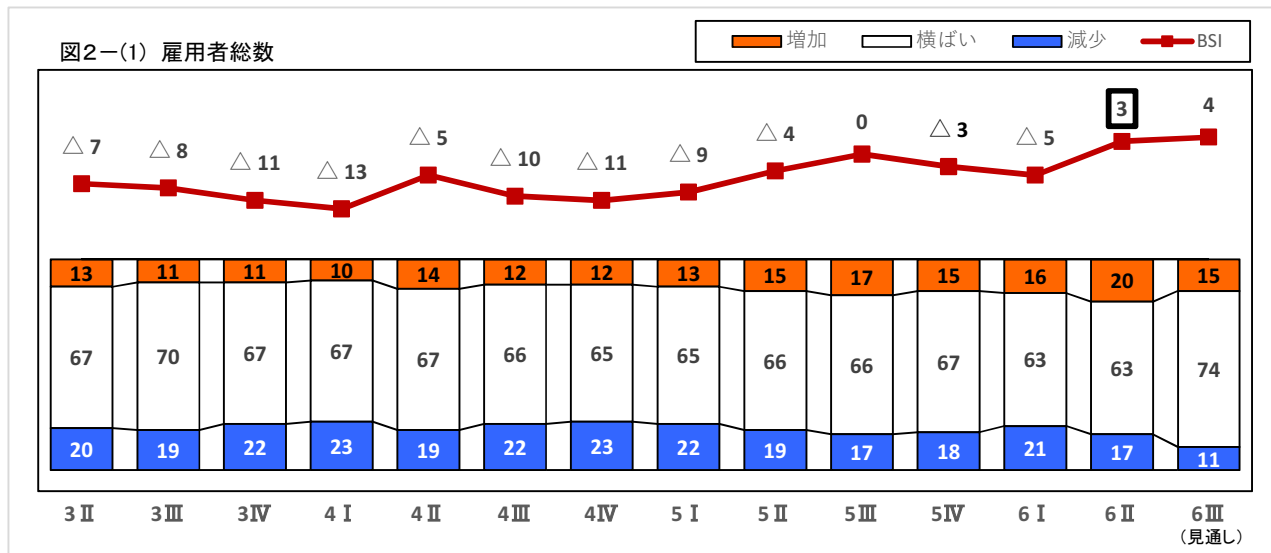
## 2 雇用状況

### (1) 雇用者総数

#### 今期の雇用者総数BSIは3(前期から8ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はプラス幅が拡大、製造業はマイナス幅が縮小、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業はプラスに転換。
- ・ 地域別にみると、道南、道央、道北、釧路・根室はプラスに転換、オホーツクはマイナス幅が拡大、十勝はプラス幅が縮小。

#### 来期の雇用者総数BSIは4(今期から1ポイント上昇)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 5	20	63	17	3	8	15	74	11	4	1
札幌市を除く	△ 8	18	64	18	0	8	13	77	10	3	3
札幌市	6	23	63	14	9	3	21	68	11	10	1
業種											
建設業	1	33	56	11	22	21	20	73	7	13	△ 9
製造業	△ 17	17	65	18	△ 1	16	10	81	9	1	2
卸売・小売業	7	18	72	10	8	1	14	81	5	9	1
運輸業	△ 15	9	59	32	△ 23	△ 8	4	71	25	△ 21	2
サービス業	△ 3	19	63	18	1	4	20	70	10	10	9
資本金											
5千万円未満	△ 7	14	69	17	△ 3	4	11	79	10	1	4
5千万円以上～1億円未満	1	34	49	17	17	16	20	72	8	12	△ 5
1億円以上	△ 2	27	55	18	9	11	28	56	16	12	3
地域											
道南	0	17	68	15	2	2	6	85	9	△ 3	△ 5
道央	△ 4	20	65	15	5	9	17	73	10	7	2
札幌市を除く	△ 15	16	67	17	△ 1	14	13	78	9	4	5
札幌市	6	23	63	14	9	3	21	68	11	10	1
道北	△ 13	24	58	18	6	19	19	69	12	7	1
オホーツク	△ 10	5	77	18	△ 13	△ 3	8	77	15	△ 7	6
十勝	7	22	58	20	2	△ 5	17	76	7	10	8
釧路・根室	△ 6	24	54	22	2	8	11	78	11	0	△ 2

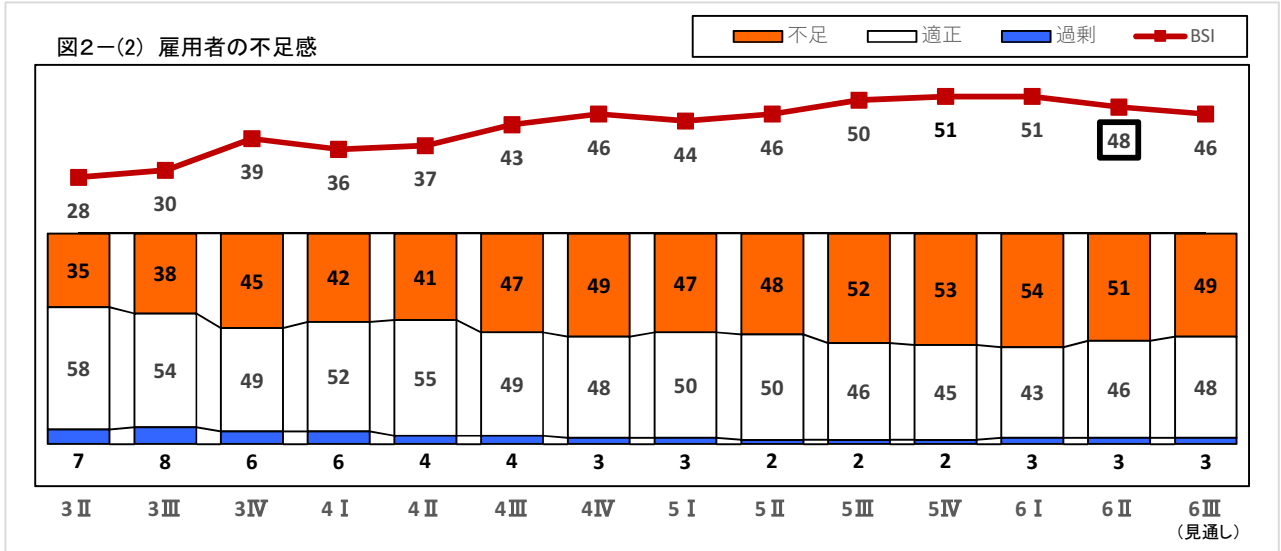


(2)雇用者の不足感

**今期の雇用者の不足感BSIは 48(前期から3ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業、運輸業、サービス業はプラス幅が拡大、製造業、卸売・小売業はプラス幅が縮小。
- ・ 地域別にみると、道南、道央はプラス幅が拡大、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室はプラス幅が縮小。

**来期の雇用者の不足感BSIは 46(今期から2ポイント下降)**



※「不足」「適正」「過剰」は%、BSIはポイント(「不足」-「過剰」)

表2-2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

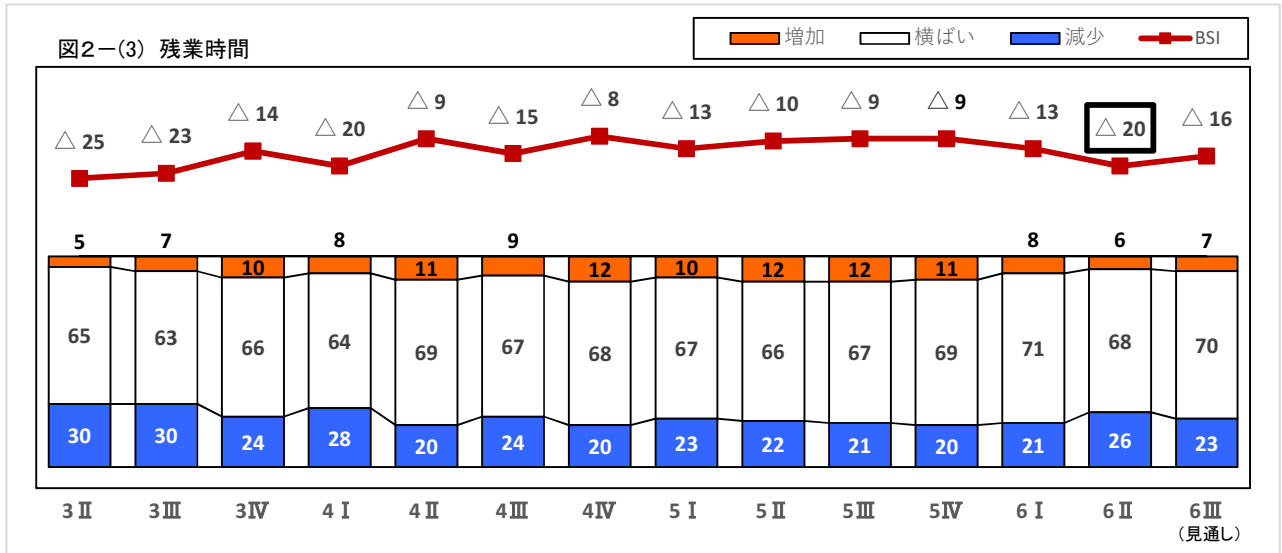
区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計	51	51	46	3	48	△3	49	48	3	46	△2
札幌市を除く	51	49	48	3	46	△5	48	49	3	45	△1
札幌市	48	58	39	3	55	7	55	42	3	52	△3
業種											
建設業	60	62	37	1	61	1	65	35	0	65	4
製造業	44	39	57	4	35	△9	36	57	7	29	△6
卸売・小売業	52	48	48	4	44	△8	44	53	3	41	△3
運輸業	57	61	39	0	61	4	64	36	0	64	3
サービス業	43	49	48	3	46	3	45	52	3	42	△4
資本金											
5千万円未満	48	48	49	3	45	△3	48	49	3	45	0
5千万円以上~1億円未満	63	60	39	1	59	△4	54	45	1	53	△6
1億円以上	47	55	42	3	52	5	51	46	3	48	△4
地域											
道南	42	47	51	2	45	3	51	47	2	49	4
道央	46	51	47	2	49	3	48	50	2	46	△3
札幌市を除く	44	43	55	2	41	△3	40	58	2	38	△3
札幌市	48	58	39	3	55	7	55	42	3	52	△3
道北	60	55	42	3	52	△8	54	43	3	51	△1
オホーツク	52	53	44	3	50	△2	48	47	5	43	△7
十勝	59	57	39	4	53	△6	56	42	2	54	1
釧路・根室	50	39	57	4	35	△15	41	55	4	37	2

(3) 残業時間

**今期の残業時間BSIは△20(前期から7ポイント下降)**

- ・ 全ての業種でマイナス幅が拡大。
- ・ 地域別にみると、オホーツクはマイナス幅が縮小、その他の地域はマイナス幅が拡大。

**来期の残業時間BSIは△16(今期から4ポイント上昇)**



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

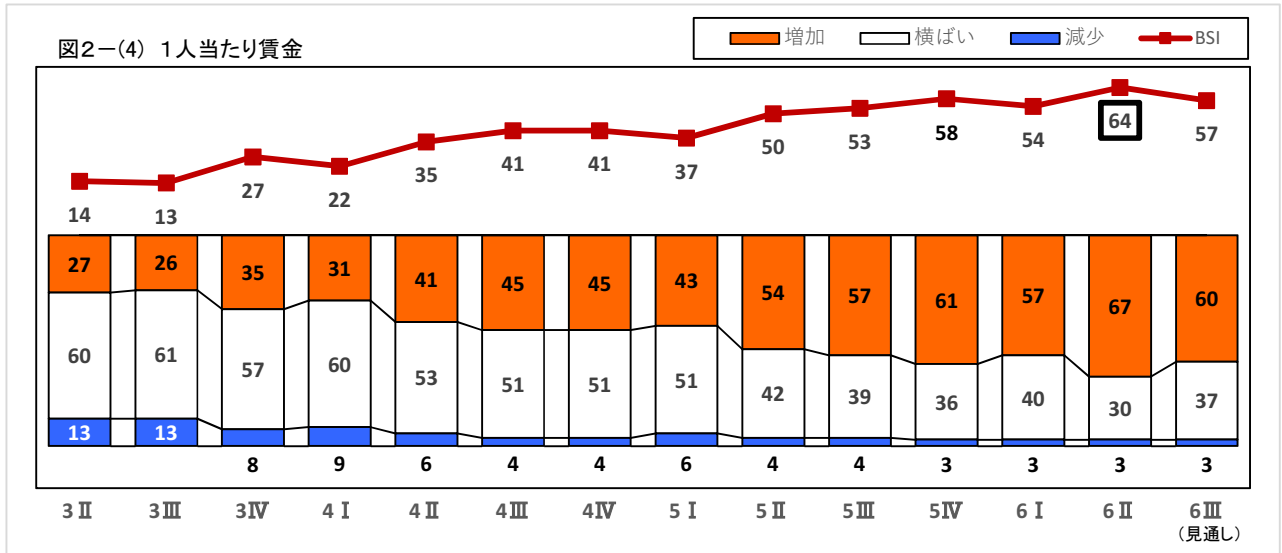
区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△13	6	68	26	△20	△7	7	70	23	△16	4
札幌市を除く	△14	5	67	28	△23	△9	6	69	25	△19	4
札幌市	△7	9	71	20	△11	△4	9	75	16	△7	4
業種											
建設業	△27	0	59	41	△41	△14	1	53	46	△45	△4
製造業	△12	8	66	26	△18	△6	9	75	16	△7	11
卸売・小売業	△11	6	73	21	△15	△4	9	72	19	△10	5
運輸業	△13	1	69	30	△29	△16	7	67	26	△19	10
サービス業	△5	11	72	17	△6	△1	8	78	14	△6	0
資本金											
5千万円未満	△18	4	68	28	△24	△6	6	70	24	△18	6
5千万円以上~1億円未満	△11	11	63	26	△15	△4	10	61	29	△19	△4
1億円以上	5	7	80	13	△6	△11	9	79	12	△3	3
地域											
道南	△5	9	72	19	△10	△5	13	66	21	△8	2
道央	△10	9	70	21	△12	△2	8	73	19	△11	1
札幌市を除く	△14	8	71	21	△13	1	6	71	23	△17	△4
札幌市	△7	9	71	20	△11	△4	9	75	16	△7	4
道北	△5	3	62	35	△32	△27	4	72	24	△20	12
オホーツク	△31	8	57	35	△27	4	10	60	30	△20	7
十勝	△23	2	63	35	△33	△10	4	66	30	△26	7
釧路・根室	△16	0	76	24	△24	△8	2	72	26	△24	0

(4) 1人当たり賃金

**今期の1人当たり賃金BSIは64(前期から10ポイント上昇)**

- ・ 全ての業種でプラス幅が拡大。
- ・ 全ての地域でプラス幅が拡大。

**来期の1人当たり賃金BSIは57(今期から7ポイント下降)**



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(4) 1人当たり賃金(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	54	67	30	3	64	10	60	37	3	57	△7
札幌市を除く	51	64	32	4	60	9	58	38	4	54	△6
札幌市	64	77	21	2	75	11	68	31	1	67	△8
業種											
建設業	66	80	18	2	78	12	71	28	1	70	△8
製造業	58	70	29	1	69	11	66	33	1	65	△4
卸売・小売業	61	68	31	1	67	6	65	33	2	63	△4
運輸業	42	58	32	10	48	6	49	44	7	42	△6
サービス業	46	63	33	4	59	13	52	44	4	48	△11
資本金											
5千万円未満	48	61	35	4	57	9	55	41	4	51	△6
5千万円以上～1億円未満	64	79	16	5	74	10	64	34	2	62	△12
1億円以上	64	84	16	0	84	20	78	22	0	78	△6
地域											
道南	50	58	40	2	56	6	53	43	4	49	△7
道央	53	73	24	3	70	17	63	35	2	61	△9
札幌市を除く	42	68	27	5	63	21	57	39	4	53	△10
札幌市	64	77	21	2	75	11	68	31	1	67	△8
道北	60	72	25	3	69	9	61	36	3	58	△11
オホーツク	52	60	35	5	55	3	60	35	5	55	0
十勝	53	63	33	4	59	6	56	40	4	52	△7
釧路・根室	54	59	37	4	55	1	59	39	2	57	2

### 3 在庫、価格水準

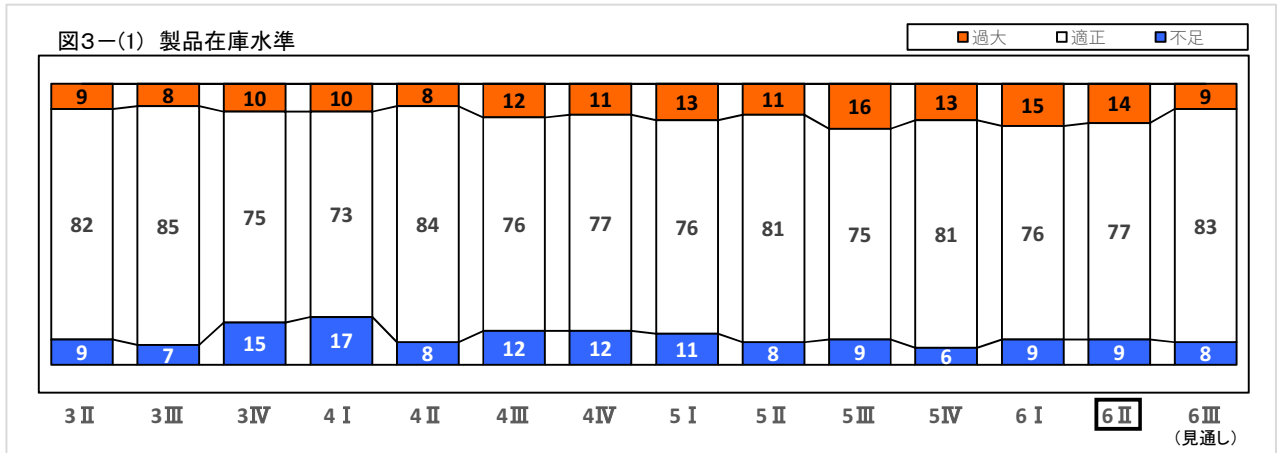
#### (1) 製造業

##### 今期の実績

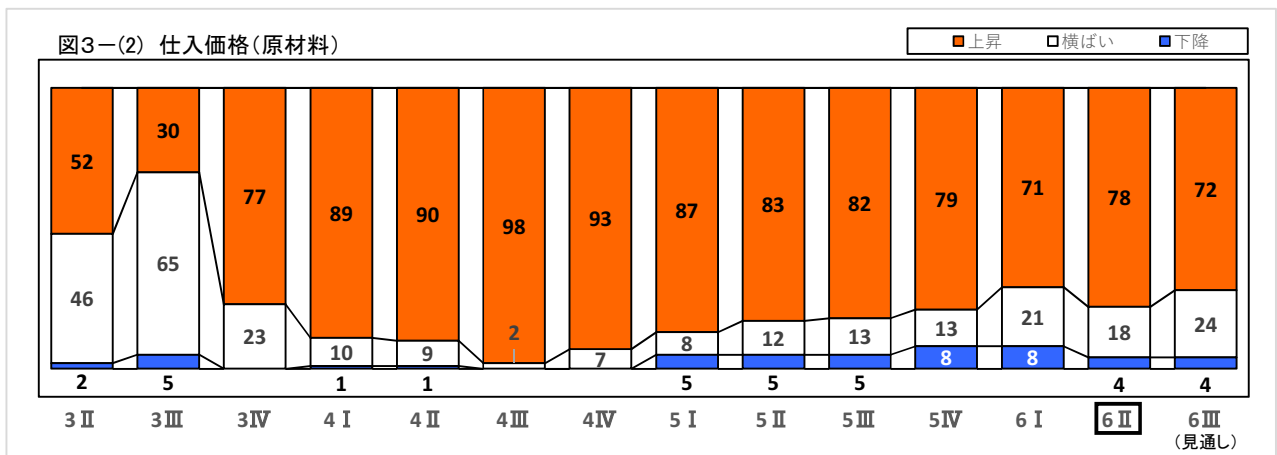
- ・ 製品在庫水準は、「適正」が77%で前期より1ポイント拡大。
- ・ 仕入価格は、「上昇」が78%となり、前期より7ポイント拡大。
- ・ 製品価格は、「上昇」が46%となり、前期から横ばい。

##### 来期の見通し

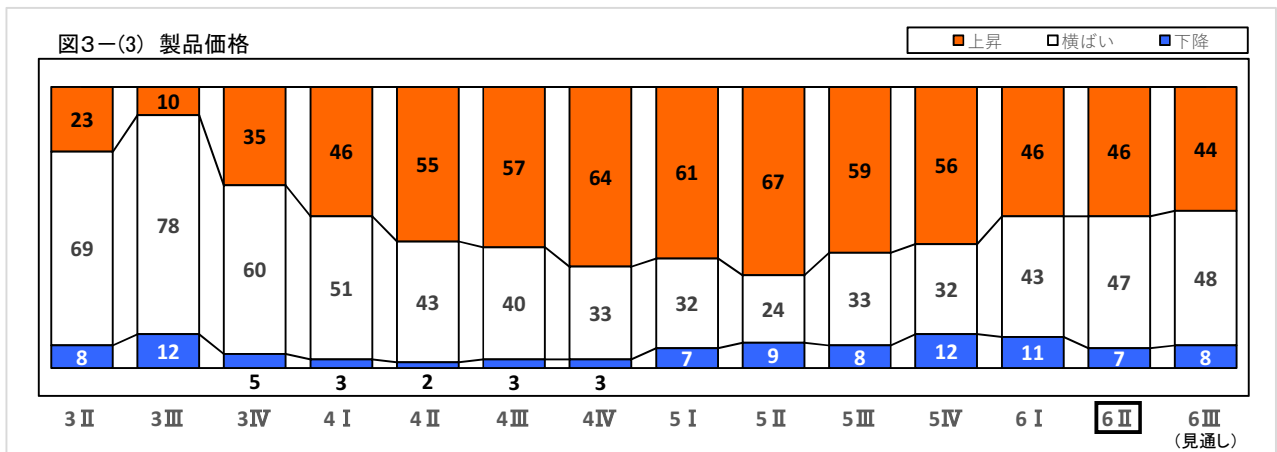
- ・ 仕入価格は、「上昇」が72%と6ポイント縮小する見込み。
- ・ 製品価格は、「上昇」が44%と2ポイント縮小する見込み。



※「過大」「適正」「不足」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%

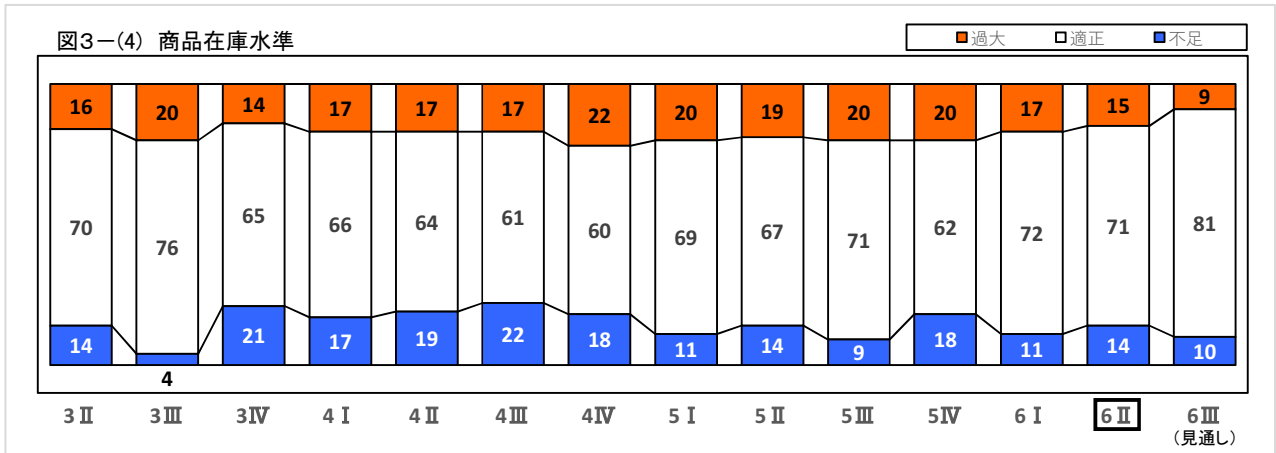
(2) 卸売・小売業

**今期の実績**

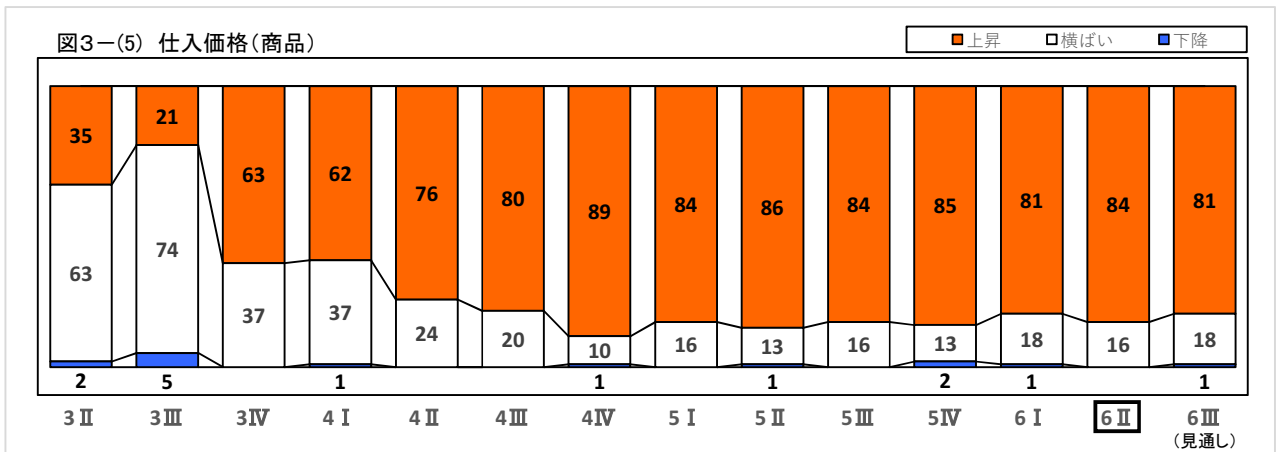
- ・ 商品在庫水準は、「適正」が71%で前期より1ポイント縮小。
- ・ 仕入価格は、「上昇」が84%となり、前期より3ポイント拡大。
- ・ 商品価格は、「上昇」が78%となり、前期より7ポイント拡大。

**来期の見通し**

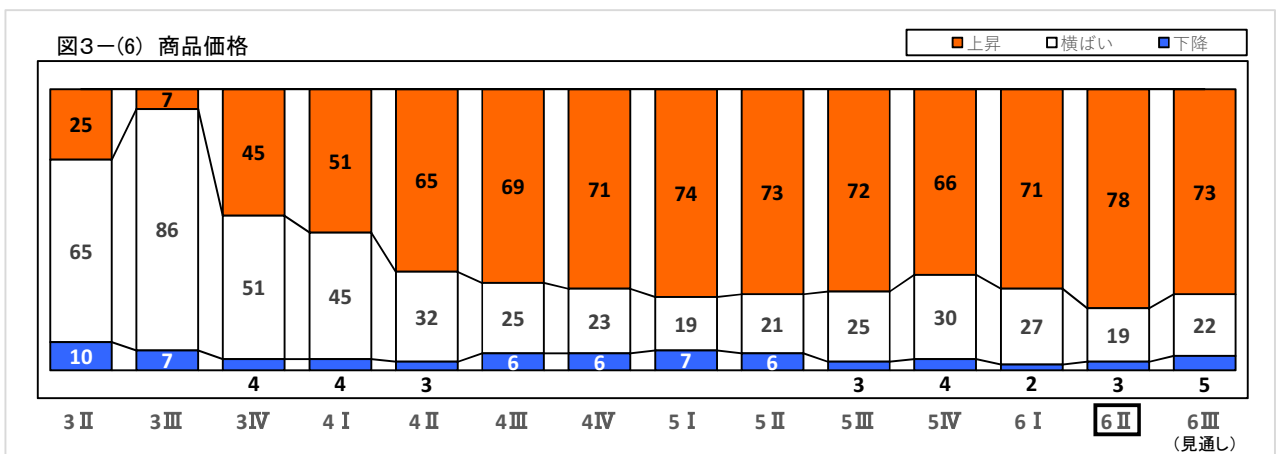
- ・ 仕入価格は、「上昇」が81%と3ポイント縮小する見込み。
- ・ 商品価格は、「上昇」が73%と5ポイント縮小する見込み。



※「過大」「適正」「不足」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%

#### 4 設備投資の状況

##### 今期の実績

- ・ 「設備投資をした」と回答した企業は39%で、前期から3ポイント上昇。
- ・ 設備投資の目的については、「設備更新」が77%、「合理化・省力化」が28%、「生産・販売能力拡大」が20%の順(複数回答)。

##### 来期の見通し

- ・ 「設備投資をする」と回答した企業は36%で、今期から3ポイント下降。
- ・ 設備投資の目的については、今期と同様の傾向。

図4-1) 設備投資の状況

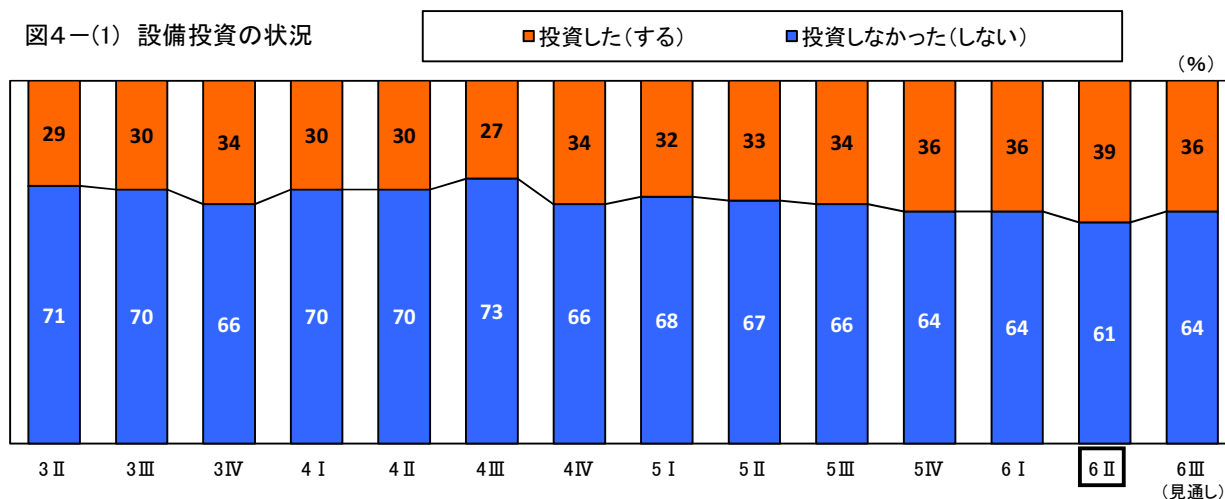


図4-2) 設備投資の目的(複数回答)

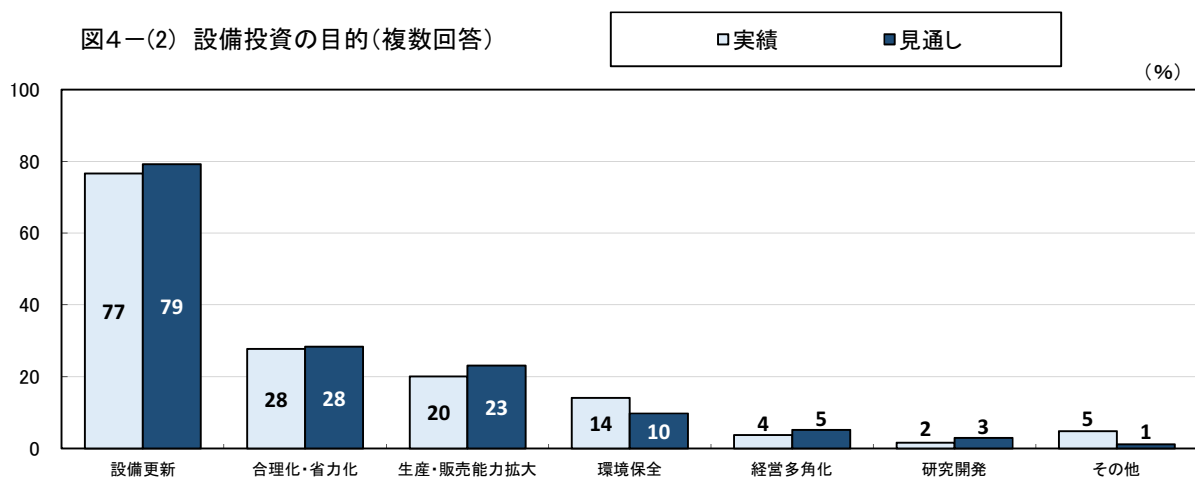


表4-(1) 設備投資の状況(R6年4-6月実績)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R6年1-3月 設備投資した	R6年4-6月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	合理化 省力化	生産・販 売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	36	39	77	28	20	14	4	2	5
札幌市を除く	35	36	75	27	20	15	4	1	5
札幌市	41	48	80	30	20	11	4	4	4
業 種									
建設業	33	35	83	27	17	3	7	3	7
製造業	38	44	77	33	21	18	0	3	5
卸売・小売業	44	38	72	31	17	28	6	0	0
運輸業	45	43	90	17	10	0	3	0	3
サービス業	28	35	67	29	31	16	4	2	8
資本金									
5千万円未満	31	34	74	26	20	14	6	1	5
5千万円以上～1億円未満	35	39	71	24	21	9	0	0	6
1億円以上	58	60	90	35	20	20	0	5	5
地 域									
道南	22	26	86	29	21	7	7	0	7
道央	38	43	79	26	24	15	3	2	4
札幌市を除く	34	36	77	20	29	20	3	0	6
札幌市	41	48	80	30	20	11	4	4	4
道北	33	39	79	24	17	10	3	0	7
オホーツク	40	35	71	43	29	7	7	0	0
十勝	43	41	68	32	18	23	5	5	5
釧路・根室	42	35	69	25	0	19	0	0	6

表4-(1) 設備投資の状況(R6年7-9月見通し)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R6年7-9月 設備投資する	設備投資の目的(複数回答)						
		設備 更新	合理化 省力化	生産・販 売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	36	79	28	23	10	5	3	1
札幌市を除く	31	79	25	24	10	6	1	1
札幌市	52	80	34	22	10	3	7	2
業 種								
建設業	24	85	30	15	5	0	5	0
製造業	49	80	32	30	9	7	2	0
卸売・小売業	31	83	28	28	14	3	3	3
運輸業	48	82	15	12	0	3	0	3
サービス業	34	72	34	26	17	9	4	0
資本金								
5千万円未満	31	76	24	25	8	7	2	2
5千万円以上～1億円未満	33	86	28	24	3	3	7	0
1億円以上	66	82	39	18	18	2	2	0
地 域								
道南	23	83	0	42	8	33	0	0
道央	48	80	30	26	8	4	5	1
札幌市を除く	43	80	24	32	5	5	2	0
札幌市	52	80	34	22	10	3	7	2
道北	23	76	47	24	12	6	0	0
オホーツク	28	73	36	9	9	0	0	0
十勝	30	81	31	19	19	0	0	0
釧路・根室	37	76	12	6	12	0	0	6

## 5 地域別にみる各産業の動向

### (1) 道南

#### 今期の業況感BSIは△8(前期から8ポイント下降)

- 業種別にみると、建設業はプラスに転換、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、運輸業はプラス幅が縮小、サービス業はマイナスに転換。

#### 来期の業況感BSIは△13(今期から5ポイント下降)

図5-(1) 地域別BSIの推移【道南】

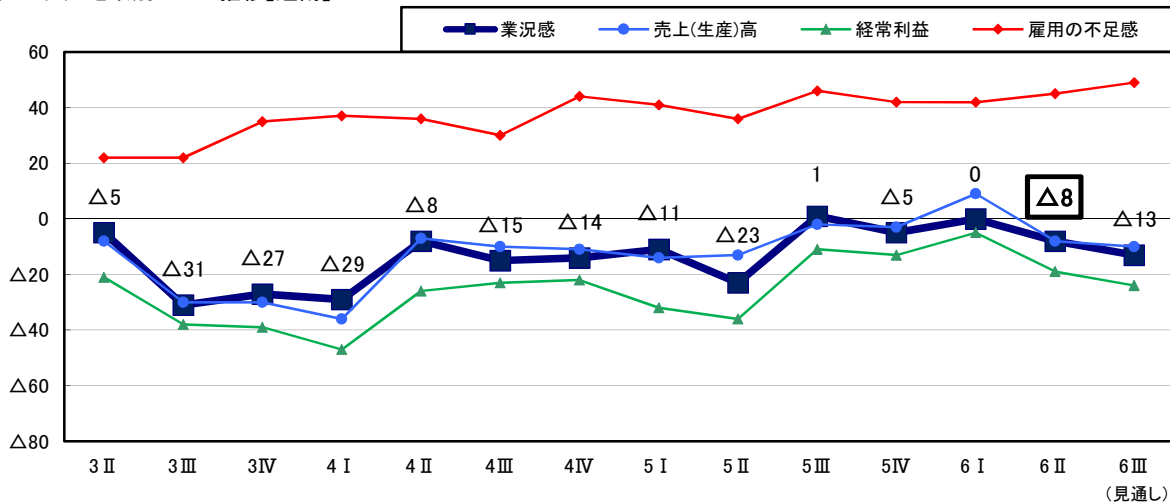


表5-(1) 地域別BSI【道南】

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	0	11	70	19	△ 8	△ 8	6	75	19	△ 13	△ 5
	建設業	△ 8	9	91	0	9	17	0	91	9	△ 9	△ 18
	製造業	△ 27	17	58	25	△ 8	19	8	84	8	0	8
	卸売・小売業	△ 7	9	55	36	△ 27	△ 20	9	55	36	△ 27	0
	運輸業	50	33	50	17	16	△ 34	17	66	17	0	△ 16
	サービス業	0	0	85	15	△ 15	△ 15	0	77	23	△ 23	△ 8
売上 (生産)高	全産業	9	17	58	25	△ 8	△ 17	13	64	23	△ 10	△ 2
	建設業	25	18	82	0	18	△ 7	0	91	9	△ 9	△ 27
	製造業	△ 27	25	42	33	△ 8	19	25	58	17	8	16
	卸売・小売業	0	18	46	36	△ 18	△ 18	18	46	36	△ 18	0
	運輸業	50	33	34	33	0	△ 50	17	50	33	△ 16	△ 16
	サービス業	5	0	77	23	△ 23	△ 28	8	69	23	△ 15	8
経常利益	全産業	△ 5	11	59	30	△ 19	△ 14	6	64	30	△ 24	△ 5
	建設業	△ 8	18	82	0	18	26	0	82	18	△ 18	△ 36
	製造業	△ 18	17	41	42	△ 25	△ 7	8	67	25	△ 17	8
	卸売・小売業	△ 15	9	55	36	△ 27	△ 12	0	55	45	△ 45	△ 18
	運輸業	30	17	66	17	0	△ 30	17	66	17	0	0
	サービス業	△ 6	0	54	46	△ 46	△ 40	8	54	38	△ 30	16
雇用者の 不足感	全産業	42	47	51	2	45	3	51	47	2	49	4
	建設業	75	64	36	0	64	△ 11	73	27	0	73	9
	製造業	27	33	67	0	33	6	33	67	0	33	0
	卸売・小売業	38	55	45	0	55	17	55	45	0	55	0
	運輸業	50	67	33	0	67	17	83	17	0	83	16
	サービス業	28	31	61	8	23	△ 5	31	61	8	23	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)



(2) 道央

**今期の業況感BSIは△7(前期から3ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業は横ばい。

**来期の業況感BSIは△7(今期から横ばい)**

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】

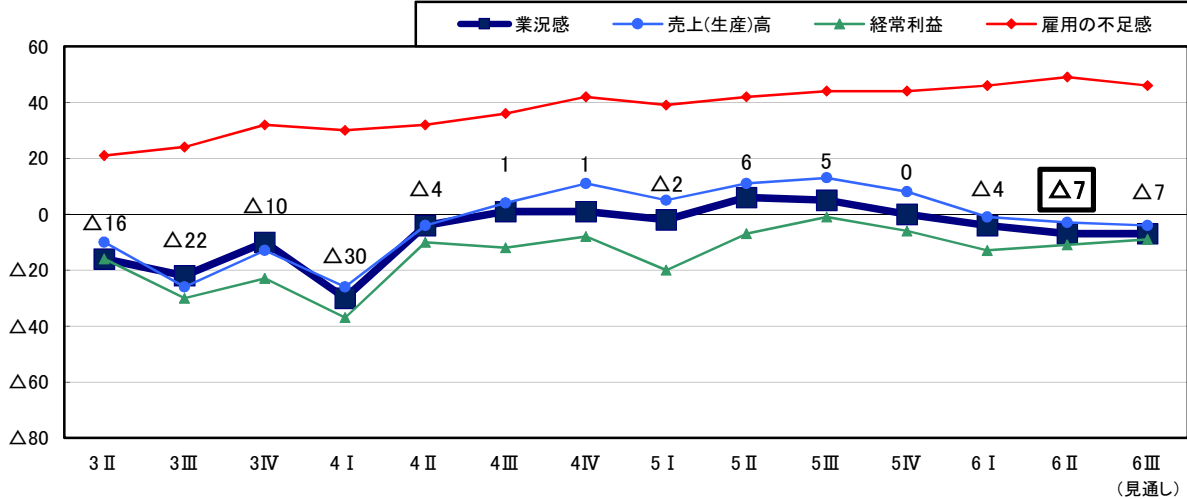


表5-(2) 地域別BSI【道央】

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△4	13	67	20	△7	△3	12	69	19	△7	0
	建設業	△19	10	76	14	△4	15	3	80	17	△14	△10
	製造業	△8	6	67	27	△21	△13	12	76	12	0	21
	卸売・小売業	△9	11	56	33	△22	△13	9	65	26	△17	5
	運輸業	△10	4	79	17	△13	△3	4	74	22	△18	△5
	サービス業	10	22	66	12	10	0	21	61	18	3	△7
売上(生産)高	全産業	△1	19	59	22	△3	△2	16	64	20	△4	△1
	建設業	△11	21	58	21	0	11	3	73	24	△21	△21
	製造業	5	12	61	27	△15	△20	9	79	12	△3	12
	卸売・小売業	△2	17	55	28	△11	△9	17	59	24	△7	4
	運輸業	△13	9	69	22	△13	0	9	69	22	△13	0
	サービス業	5	26	56	18	8	3	24	58	18	6	△2
経常利益	全産業	△13	19	51	30	△11	2	14	63	23	△9	2
	建設業	△25	24	55	21	3	28	3	69	28	△25	△28
	製造業	△7	21	52	27	△6	1	12	73	15	△3	3
	卸売・小売業	△17	13	48	39	△26	△9	13	59	28	△15	11
	運輸業	△10	13	48	39	△26	△16	9	65	26	△17	9
	サービス業	△11	22	52	26	△4	7	22	57	21	1	5
雇用者の不足感	全産業	46	51	47	2	49	3	48	50	2	46	△3
	建設業	47	59	41	0	59	12	62	38	0	62	3
	製造業	25	27	67	6	21	△4	21	70	9	12	△9
	卸売・小売業	59	48	45	7	41	△18	37	59	4	33	△8
	運輸業	50	57	43	0	57	7	61	39	0	61	4
	サービス業	47	59	41	0	59	12	56	44	0	56	△3

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(2)－① 道央(札幌市を除く)

**今期の業況感BSIは△9(前期から4ポイント上昇)**

- ・ 業種別にみると、建設業、サービス業はプラスに転換、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、運輸業はマイナス幅が縮小。

**来期の業況感BSIは△8(今期から1ポイント上昇)**

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央(札幌市を除く)】

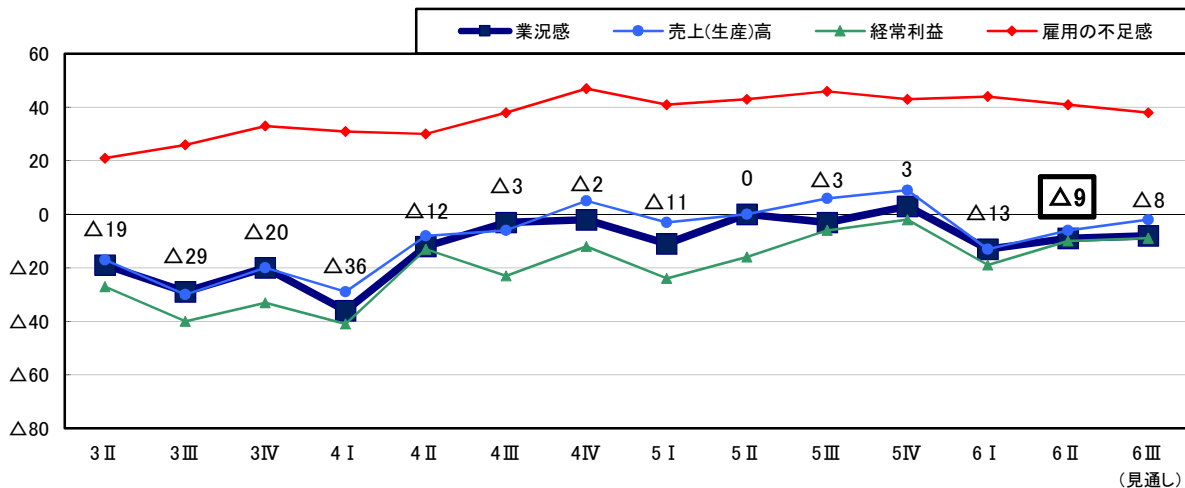


表5-(2)-① 地域別BSI【道央(札幌市を除く)】

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し					
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 13	15	61	24	△ 9	4	14	64	22	△ 8	1
	建設業	△ 25	17	75	8	9	34	8	75	17	△ 9	△ 18
	製造業	△ 16	5	58	37	△ 32	△ 16	11	73	16	△ 5	27
	卸売・小売業	△ 9	10	52	38	△ 28	△ 19	14	62	24	△ 10	18
	運輸業	△ 17	8	77	15	△ 7	10	0	69	31	△ 31	△ 24
	サービス業	△ 6	26	58	16	10	16	23	54	23	0	△ 10
売上(生産)高	全産業	△ 13	20	54	26	△ 6	7	18	62	20	△ 2	4
	建設業	△ 12	33	50	17	16	28	8	75	17	△ 9	△ 25
	製造業	△ 21	11	52	37	△ 26	△ 5	5	79	16	△ 11	15
	卸売・小売業	0	10	57	33	△ 23	△ 23	29	52	19	10	33
	運輸業	△ 22	15	62	23	△ 8	14	8	61	31	△ 23	△ 15
	サービス業	△ 9	29	52	19	10	19	26	55	19	7	△ 3
経常利益	全産業	△ 19	23	44	33	△ 10	9	16	59	25	△ 9	1
	建設業	△ 18	33	42	25	8	26	8	67	25	△ 17	△ 25
	製造業	△ 21	16	47	37	△ 21	0	5	74	21	△ 16	5
	卸売・小売業	△ 13	19	38	43	△ 24	△ 11	24	47	29	△ 5	19
	運輸業	△ 28	15	47	38	△ 23	5	8	69	23	△ 15	8
	サービス業	△ 15	29	45	26	3	18	23	51	26	△ 3	△ 6
雇用者の不足感	全産業	44	43	55	2	41	△ 3	40	58	2	38	△ 3
	建設業	50	58	42	0	58	8	58	42	0	58	0
	製造業	21	26	69	5	21	0	16	73	11	5	△ 16
	卸売・小売業	61	29	66	5	24	△ 37	24	76	0	24	0
	運輸業	39	38	62	0	38	△ 1	46	54	0	46	8
	サービス業	52	58	42	0	58	6	55	45	0	55	△ 3

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(2)－② 道央(札幌市)

**今期の業況感BSIは△4(前期から9ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が縮小、製造業はマイナスに転換、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業はプラス幅が縮小。

**来期の業況感BSIは△5(今期から1ポイント下降)**

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央(札幌市)】

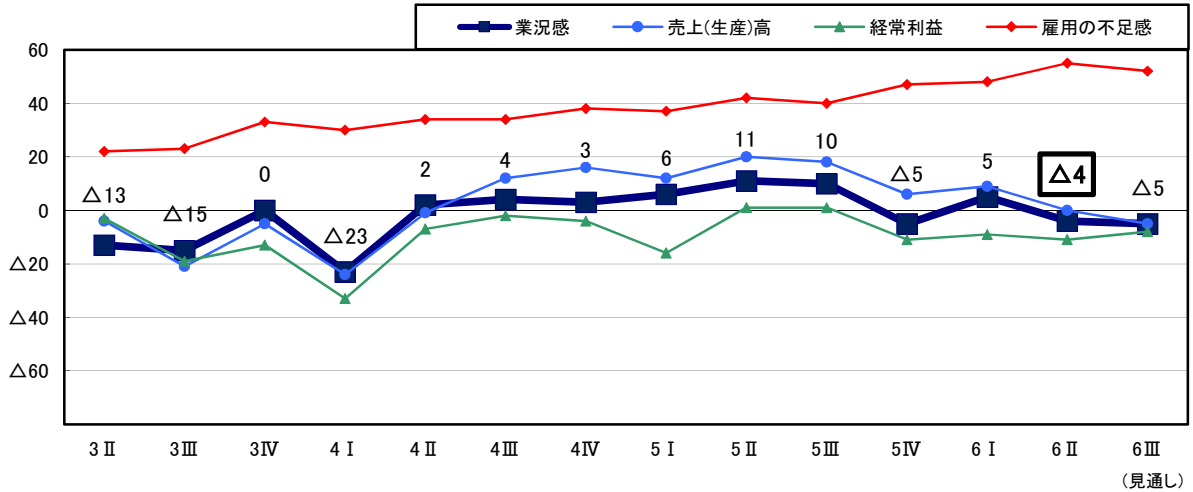


表5-(2)-② 地域別BSI【道央(札幌市)】

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	5	12	72	16	△ 4	△ 9	12	71	17	△ 5	△ 1
	建設業	△ 15	6	76	18	△ 12	3	0	82	18	△ 18	△ 6
	製造業	7	7	79	14	△ 7	△ 14	14	79	7	7	14
	卸売・小売業	△ 7	12	60	28	△ 16	△ 9	4	68	28	△ 24	△ 8
	運輸業	0	0	80	20	△ 20	△ 20	10	80	10	0	20
	サービス業	20	19	72	9	10	△ 10	19	66	15	4	△ 6
売上 (生産)高	全産業	9	19	62	19	0	△ 9	14	67	19	△ 5	△ 5
	建設業	△ 10	12	64	24	△ 12	△ 2	0	71	29	△ 29	△ 17
	製造業	47	14	72	14	0	△ 47	14	79	7	7	7
	卸売・小売業	△ 4	24	52	24	0	4	8	64	28	△ 20	△ 20
	運輸業	0	0	80	20	△ 20	△ 20	10	80	10	0	20
	サービス業	14	23	60	17	6	△ 8	23	60	17	6	0
経常利益	全産業	△ 9	16	57	27	△ 11	△ 2	13	66	21	△ 8	3
	建設業	△ 30	18	64	18	0	30	0	71	29	△ 29	△ 29
	製造業	13	29	57	14	15	2	21	72	7	14	△ 1
	卸売・小売業	△ 19	8	56	36	△ 28	△ 9	4	68	28	△ 24	4
	運輸業	16	10	50	40	△ 30	△ 46	10	60	30	△ 20	10
	サービス業	△ 8	17	57	26	△ 9	△ 1	21	62	17	4	13
雇用の 不足感	全産業	48	58	39	3	55	7	55	42	3	52	△ 3
	建設業	45	59	41	0	59	14	65	35	0	65	6
	製造業	33	29	64	7	22	△ 11	29	64	7	22	0
	卸売・小売業	58	64	28	8	56	△ 2	48	44	8	40	△ 16
	運輸業	67	80	20	0	80	13	80	20	0	80	0
	サービス業	44	60	40	0	60	16	57	43	0	57	△ 3

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(3) 道北

**今期の業況感BSIは△23(前期から19ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が縮小、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、運輸業、サービス業はマイナスに転換。

**来期の業況感BSIは△10(今期から13ポイント上昇)**

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

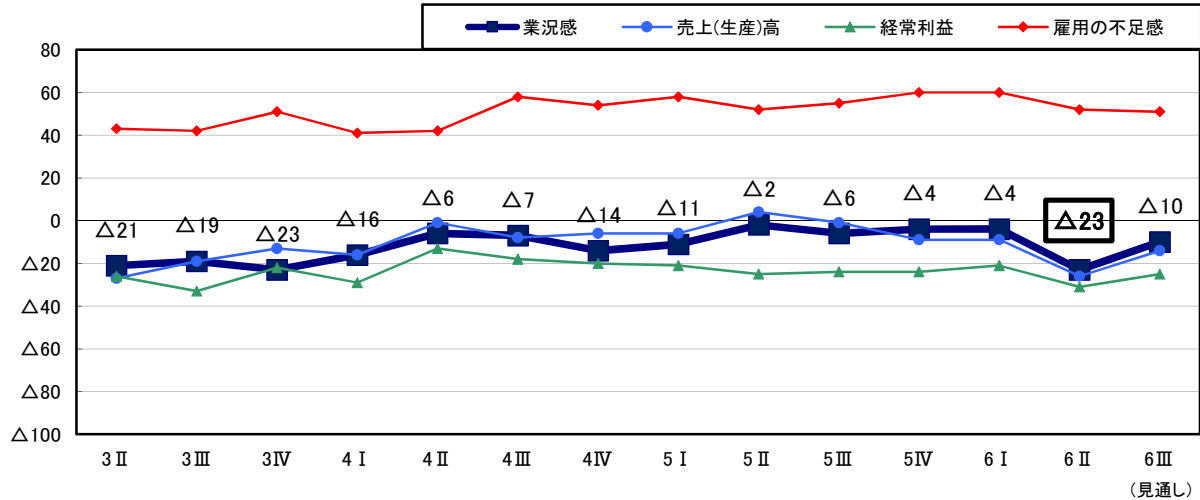


表5-(3) 地域別BSI【道北】

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	Δ 4	7	63	30	Δ 23	Δ 19	8	74	18	Δ 10	13
	建設業	Δ 6	20	60	20	0	6	20	60	20	0	0
	製造業	0	0	69	31	Δ 31	Δ 31	6	69	25	Δ 19	12
	卸売・小売業	Δ 22	0	58	42	Δ 42	Δ 20	0	67	33	Δ 33	9
	運輸業	0	0	64	36	Δ 36	Δ 36	0	86	14	Δ 14	22
	サービス業	0	12	64	24	Δ 12	Δ 12	12	88	0	12	24
売上 (生産)高	全産業	Δ 9	8	58	34	Δ 26	Δ 17	14	58	28	Δ 14	12
	建設業	Δ 17	20	53	27	Δ 7	10	13	60	27	Δ 14	Δ 7
	製造業	0	6	63	31	Δ 25	Δ 25	13	56	31	Δ 18	7
	卸売・小売業	Δ 33	0	58	42	Δ 42	Δ 9	0	58	42	Δ 42	0
	運輸業	0	0	64	36	Δ 36	Δ 36	7	57	36	Δ 29	7
	サービス業	Δ 4	12	53	35	Δ 23	Δ 19	29	59	12	17	40
経常利益	全産業	Δ 21	8	53	39	Δ 31	Δ 10	14	47	39	Δ 25	6
	建設業	Δ 29	7	60	33	Δ 26	3	7	53	40	Δ 33	Δ 7
	製造業	Δ 17	6	63	31	Δ 25	Δ 8	13	49	38	Δ 25	0
	卸売・小売業	Δ 33	0	42	58	Δ 58	Δ 25	0	58	42	Δ 42	16
	運輸業	Δ 15	0	50	50	Δ 50	Δ 35	7	43	50	Δ 43	7
	サービス業	Δ 16	24	47	29	Δ 5	11	35	36	29	6	11
雇用の 不足感	全産業	60	55	42	3	52	Δ 8	54	43	3	51	Δ 1
	建設業	70	73	27	0	73	3	73	27	0	73	0
	製造業	70	50	44	6	44	Δ 26	50	44	6	44	0
	卸売・小売業	33	42	50	8	34	1	42	50	8	34	0
	運輸業	71	64	36	0	64	Δ 7	64	36	0	64	0
	サービス業	50	47	53	0	47	Δ 3	41	59	0	41	Δ 6

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(4) オホーツク

**今期の業況感BSIは△25(前期から横ばい)**

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業はプラス幅が縮小。

**来期の業況感BSIは△18(今期から7ポイント上昇)**

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

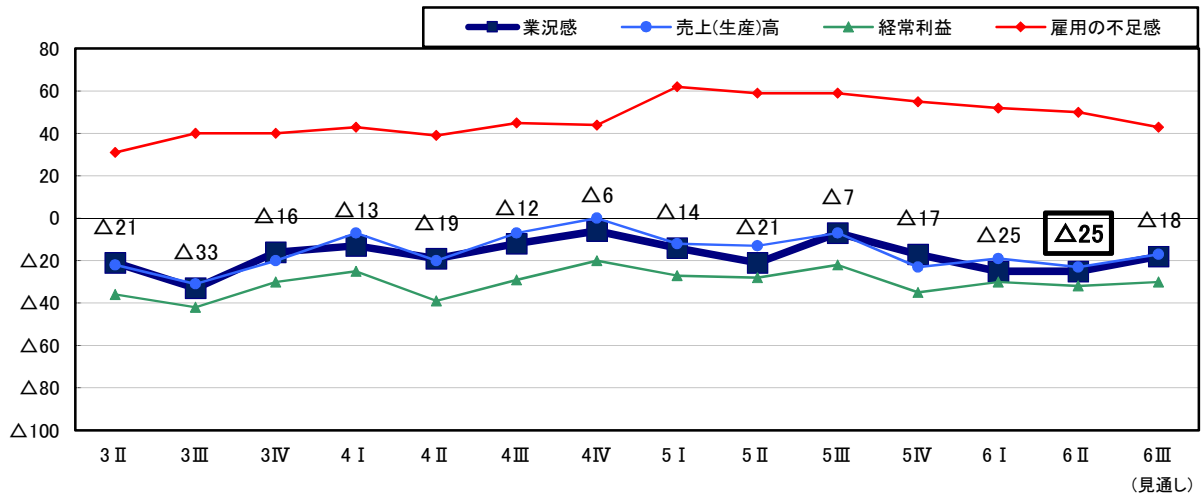


表5-(4) 地域別BSI(オホーツク)

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 25	8	59	33	△ 25	0	10	62	28	△ 18	7
	建設業	△ 17	0	50	50	△ 50	△ 33	0	62	38	△ 38	12
	製造業	△ 40	0	62	38	△ 38	2	25	37	38	△ 13	25
	卸売・小売業	△ 38	11	56	33	△ 22	16	11	67	22	△ 11	11
	運輸業	△ 40	14	57	29	△ 15	25	14	57	29	△ 15	0
	サービス業	13	13	74	13	0	△ 13	0	87	13	△ 13	△ 13
売上(生産)高	全産業	△ 19	10	57	33	△ 23	△ 4	18	47	35	△ 17	6
	建設業	△ 17	0	50	50	△ 50	△ 33	0	50	50	△ 50	0
	製造業	△ 30	0	50	50	△ 50	△ 20	25	25	50	△ 25	25
	卸売・小売業	△ 25	11	56	33	△ 22	3	22	45	33	△ 11	11
	運輸業	△ 30	14	72	14	0	30	14	57	29	△ 15	△ 15
	サービス業	13	25	62	13	12	△ 1	25	62	13	12	0
経常利益	全産業	△ 30	3	62	35	△ 32	△ 2	8	54	38	△ 30	2
	建設業	△ 33	0	50	50	△ 50	△ 17	0	50	50	△ 50	0
	製造業	△ 50	0	50	50	△ 50	0	25	12	63	△ 38	12
	卸売・小売業	△ 25	11	56	33	△ 22	3	11	56	33	△ 22	0
	運輸業	△ 50	0	71	29	△ 29	21	0	71	29	△ 29	0
	サービス業	25	0	87	13	△ 13	△ 38	0	87	13	△ 13	0
雇用者の不足感	全産業	52	53	44	3	50	△ 2	48	47	5	43	△ 7
	建設業	67	63	37	0	63	△ 4	50	50	0	50	△ 13
	製造業	60	63	37	0	63	3	50	37	13	37	△ 26
	卸売・小売業	38	33	67	0	33	△ 5	44	56	0	44	11
	運輸業	60	86	14	0	86	26	71	29	0	71	△ 15
	サービス業	25	25	62	13	12	△ 13	25	62	13	12	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(5) 十勝

**今期の業況感BSIは△17(前期から12ポイント下降)**

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、運輸業は横ばい、サービス業はプラス幅が縮小。

**来期の業況感BSIは△8(今期から9ポイント上昇)**

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】

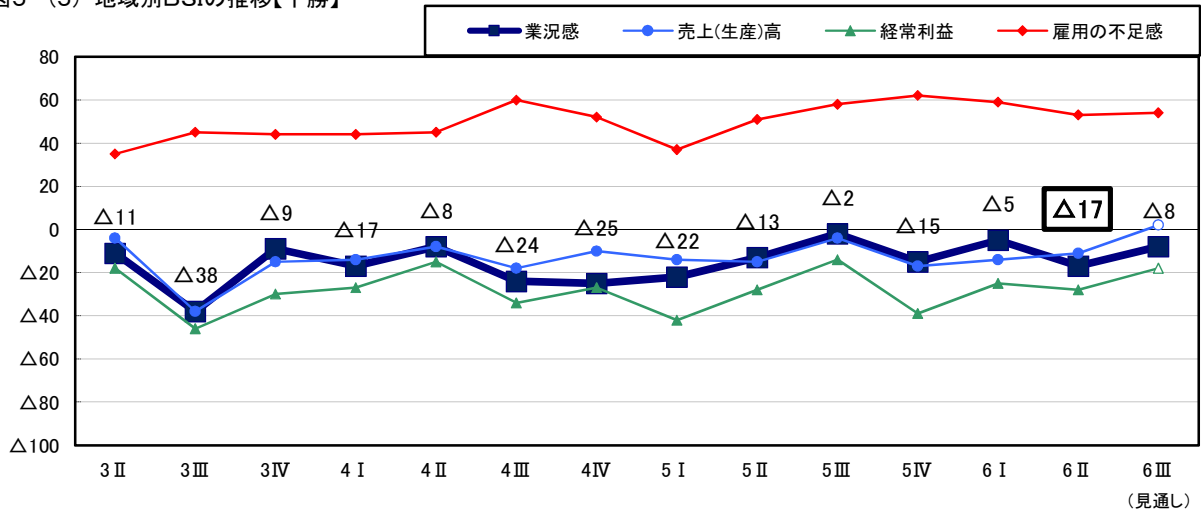


表5-(5) 地域別BSI(十勝)

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 5	7	69	24	△ 17	△ 12	7	78	15	△ 8	9
	建設業	△ 22	9	64	27	△ 18	4	9	64	27	△ 18	0
	製造業	△ 50	11	56	33	△ 22	28	11	89	0	11	33
	卸売・小売業	0	0	55	45	△ 45	△ 45	0	64	36	△ 36	9
	運輸業	0	10	80	10	0	0	10	80	10	0	0
	サービス業	13	8	84	8	0	△ 13	8	92	0	8	8
売上(生産)高	全産業	△ 14	13	63	24	△ 11	3	19	64	17	2	13
	建設業	△ 29	9	73	18	△ 9	20	9	64	27	△ 18	△ 9
	製造業	△ 75	22	45	33	△ 11	64	22	78	0	22	33
	卸売・小売業	△ 10	9	46	45	△ 36	△ 26	18	46	36	△ 18	18
	運輸業	△ 15	10	70	20	△ 10	5	10	70	20	△ 10	0
	サービス業	13	15	77	8	7	△ 6	31	69	0	31	24
経常利益	全産業	△ 25	7	58	35	△ 28	△ 3	15	52	33	△ 18	10
	建設業	△ 43	9	55	36	△ 27	16	9	36	55	△ 46	△ 19
	製造業	△ 75	11	67	22	△ 11	64	22	67	11	11	22
	卸売・小売業	△ 20	0	45	55	△ 55	△ 35	9	64	27	△ 18	37
	運輸業	△ 23	10	50	40	△ 30	△ 7	20	20	60	△ 40	△ 10
	サービス業	0	8	69	23	△ 15	△ 15	15	70	15	0	15
雇用者の不足感	全産業	59	57	39	4	53	△ 6	56	42	2	54	1
	建設業	65	64	27	9	55	△ 10	64	36	0	64	9
	製造業	50	33	67	0	33	△ 17	33	67	0	33	0
	卸売・小売業	70	64	36	0	64	△ 6	64	36	0	64	0
	運輸業	77	70	30	0	70	△ 7	80	20	0	80	10
	サービス業	33	54	38	8	46	13	38	54	8	30	△ 16

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(6) 釧路・根室

**今期の業況感BSIは△18(前期から2ポイント上昇)**

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、製造業、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業は横ばい。

**来期の業況感BSIは△18(今期から横ばい)**

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

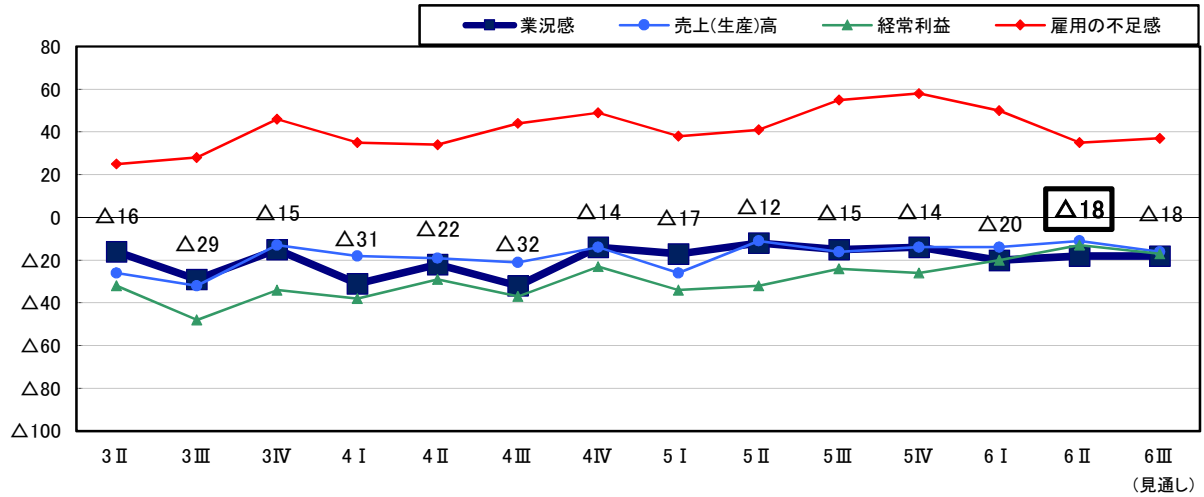


表5-(6) 地域別BSI(釧路・根室)

区分	R6年1-3月実績	R6年4-6月実績						R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 20	4	74	22	△ 18	2	2	78	20	△ 18	0
	建設業	△ 17	0	73	27	△ 27	△ 10	0	73	27	△ 27	0
	製造業	△ 36	9	64	27	△ 18	18	0	82	18	△ 18	0
	卸売・小売業	△ 15	0	80	20	△ 20	△ 5	0	80	20	△ 20	0
	運輸業	△ 30	0	78	22	△ 22	8	0	78	22	△ 22	0
	サービス業	0	10	80	10	0	0	10	80	10	0	0
売上(生産)高	全産業	△ 14	15	59	26	△ 11	3	4	76	20	△ 16	△ 5
	建設業	△ 25	18	55	27	△ 9	16	0	82	18	△ 18	△ 9
	製造業	△ 27	27	37	36	△ 9	18	9	64	27	△ 18	△ 9
	卸売・小売業	29	20	40	40	△ 20	△ 49	0	80	20	△ 20	0
	運輸業	△ 30	0	78	22	△ 22	8	0	78	22	△ 22	0
	サービス業	0	10	80	10	0	0	10	80	10	0	0
経常利益	全産業	△ 20	17	53	30	△ 13	7	7	69	24	△ 17	△ 4
	建設業	△ 16	18	55	27	△ 9	7	0	73	27	△ 27	△ 18
	製造業	△ 27	36	37	27	9	36	18	64	18	0	△ 9
	卸売・小売業	0	20	40	40	△ 20	△ 20	0	80	20	△ 20	0
	運輸業	△ 30	0	56	44	△ 44	△ 14	0	67	33	△ 33	11
	サービス業	△ 20	10	70	20	△ 10	10	10	70	20	△ 10	0
雇用者の不足感	全産業	50	39	57	4	35	△ 15	41	55	4	37	2
	建設業	58	55	45	0	55	△ 3	64	36	0	64	9
	製造業	64	55	36	9	46	△ 18	55	36	9	46	0
	卸売・小売業	43	40	60	0	40	△ 3	40	60	0	40	0
	運輸業	40	33	67	0	33	△ 7	33	67	0	33	0
	サービス業	40	10	80	10	0	△ 40	10	80	10	0	0

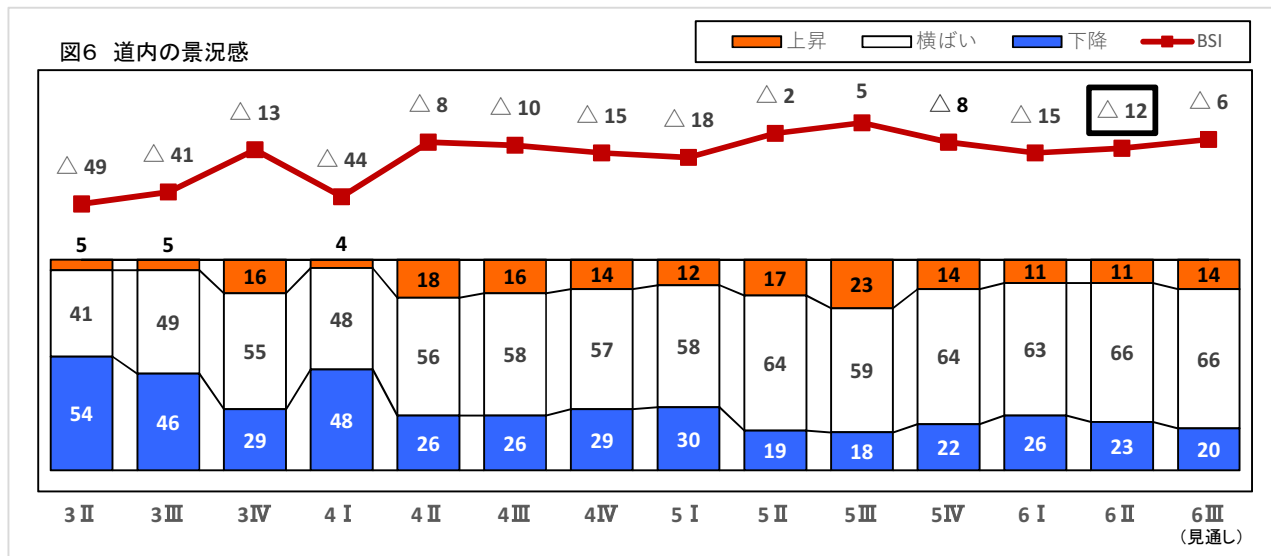
※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

6 道内の景況感

**今期の景況感BSIは△12(前期から3ポイント上昇)**

- ・ 業種別で見ると、建設業、製造業はマイナス幅が縮小、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、運輸業、サービス業は横ばい。
- ・ 地域別で見ると、道南はマイナス幅が拡大、その他の地域はマイナス幅が縮小。

**来期の景況感BSIは△6(今期から6ポイント上昇)**



※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 1-3月 実績	R6年4-6月実績					R6年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△ 15	11	66	23	△ 12	3	14	66	20	△ 6	6
札幌市を除く	△ 17	11	64	25	△ 14	3	12	67	21	△ 9	5
札幌市	△ 8	13	68	19	△ 6	2	19	67	14	5	11
業種											
建設業	△ 16	12	68	20	△ 8	8	12	74	14	△ 2	6
製造業	△ 25	7	71	22	△ 15	10	11	70	19	△ 8	7
卸売・小売業	△ 10	16	55	29	△ 13	△ 3	11	65	24	△ 13	0
運輸業	△ 17	9	65	26	△ 17	0	13	61	26	△ 13	4
サービス業	△ 9	12	67	21	△ 9	0	19	64	17	2	11
資本金											
5千万円未満	△ 23	9	63	28	△ 19	4	11	64	25	△ 14	5
5千万円以上~1億円未満	△ 3	14	66	20	△ 6	△ 3	20	67	13	7	13
1億円以上	7	21	73	6	15	8	19	78	3	16	1
地域											
道南	△ 1	17	60	23	△ 6	△ 5	13	68	19	△ 6	0
道央	△ 11	12	66	22	△ 10	1	17	67	16	1	11
札幌市を除く	△ 16	11	64	25	△ 14	2	15	67	18	△ 3	11
札幌市	△ 8	13	68	19	△ 6	2	19	67	14	5	11
道北	△ 20	8	66	26	△ 18	2	11	59	30	△ 19	△ 1
オホーツク	△ 21	8	69	23	△ 15	6	5	67	28	△ 23	△ 8
十勝	△ 18	11	61	28	△ 17	1	13	68	19	△ 6	11
釧路・根室	△ 28	9	67	24	△ 15	13	13	70	17	△ 4	11



7 業種・地域別企業経営者の声(令和6年4-6月)

【建設業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札参加には、賃上げや週休二日などが必須。冬期間の施工が厳しい北海道にとって、実情にあった建設業界の働き方や工期設定について検討してほしい。(建設業)</li> <li>・ 資材高騰が続く中、売価への価格転嫁が進まず、厳しい経営状況が続いている。(建設業)</li> <li>・ 人手不足が深刻化する中、業績の善し悪しに関係なく、福利厚生充実や賃上げを行っている。行政による、さらなる価格転嫁推進策などをお願いしたい。(建設業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アフターコロナが進む中やっと売上・利益が上向いてきたが、来期の見通しは厳しい。人手不足で仕事の生産性が低下している。社員を募集しても応募が無く採用ができない。(建設業)</li> <li>・ ここ数年道内では大型工事が続き、砂利の需要が増加。一定の売上を保っている。(砂利採取業)</li> <li>・ 後継者不在で従業員も高齢化が進み、事業の継続が不安。(建設業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業況の見通しが厳しい中、賃上げ率を抑えざるを得ない状況。(建設業)</li> <li>・ 戸建て住宅を中心に受注の減少が続く。従業員の確保等のため賃上げを行ったが、顧客離れ等が懸念され、価格転嫁は難しい。(建設業)</li> <li>・ 人手不足の中、4月からは時間外労働の上限規制が適用され、民間工事の受注を控えざるを得ない状況。(建設業)</li> <li>・ 新築住宅の受注が伸び悩んでいる。建設資材価格上昇に加え住宅ローン金利の上昇も想定され厳しい状況が続く。人口減の中、需要減は回避できないが、デザイン・品質・性能などをお客様に伝える等地道な営業努力により、厳しい現状を打開していくしかない。(建設業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業土木は、天候に左右されるとともに、受益者の意向もあることから、社会全体で働き方改革を進める上で、実情に即した工期設定に努めてほしい。(建設業)</li> <li>・ 住宅建築コストが大幅に上昇し、一般世帯が毎月返済できる金額を考えると、40年を超えるような住宅ローンとなってしまう。普通の世帯では家を持つことがままならない状況に陥っている。(住宅建設業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術系職員の不足が深刻。社員の退職が進む中、技術力の継承は喫緊の課題。しかし、売り手市場の中、思うように採用が進まず、大学等との連携やセミナーへの積極的な参加、賃上げなどにも取り組んでいる。(土木建築業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共工事については、資材価格等上昇による単価の見直しが図られているが、民間工事については、価格転嫁が進んでいない実態。人手不足の問題もあり、事業規模の縮小も考えざるを得ない状況。(土木建築工事業)</li> </ul>

【製造業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料価格の上昇分については概ね価格転嫁できている。アフターコロナが進む中、多忙な状況が続いている。(菓子製造業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>木材需要について、家具はコロナ禍で伸長した後、低迷が続いており、内装関係は現在ニセコ・富良野等中心に需要が伸長している。欧米から輸入している木材価格が高騰する中、値上げを実施したが、これまでは値上げ前に駆け込み需要がみられたが、今回はそういった動きが無かった。(木材・木製品工業)</li> <li>コロナ5類移行後、会議等もリアル開催に戻ってきており、また、観光需要も回復し、印刷物の受注も増加してきている。ただし、チラシやポスターなど商用印刷物は紙から web、SNS にシフトしてきており、減少傾向が続く。人手不足の強まりを受けて、企業の人材募集のホームページ制作依頼が増加しており、web・ソフト開発部門の売上は増加基調。(印刷業)</li> <li>北米産ニシンの価格が上昇しており、利益は縮小傾向にある。(水産加工業)</li> <li>貝毒検査は、規制中は1回/週、規制解除後は1回/3日のペースで行うが、貝毒が何度も発生すると、3日に1回の検査では怖くて出荷をためらってしまう。(水産加工業)</li> <li>従業員の平均年齢は60代半ばで、高齢化が進むが、新規採用もままならず、定年を延長して、働いてもらえる間は雇用を継続している。(水産加工業)</li> <li>令和3年に発生した赤潮の影響等で、ここ数年は秋鮭の漁獲量が大きく低下。在庫が不足し、厳しい状況が続いている。(水産加工業)</li> <li>人手不足が深刻化する中、従業員の離職や、他社との人材の取り合いを懸念。(食料品製造業)</li> <li>廃食用油を原料としたBDF(バイオディーゼル燃料)の精製・販売を行っている。昔はコスト削減が目的だったが、今は、特に大企業が環境対策として使用するようになり、需要が高まっている。今後は、街中で集めた廃油をBDFにして街で再利用するといった「地産地消」の取組を進めていきたい。(製造業)</li> <li>従業員の確保やモチベーション維持のために、賃上げは欠かせないが、零細企業にとっては、限界があり、厳しい状況にある。(衣類製造業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>受注が落ち込み、販売価格も下降傾向のため、コロナ禍前の水準まで回復できず、厳しい経営状況が続く。(家具製造業)</li> <li>運送業に対する時間外労働の上限規制適用後、一般道から高速道利用に変わった。物流費上昇が経営の負担となっている。(金属製品工業)</li> <li>道内産タラは浜値の変動が大きく、ここ数年はロシア産の輸入が途絶えていることから、製品価格が値上がりし、販売量が落ちている。(水産加工業)</li> <li>扱っているホタテは全て国内向けで中国禁輸の影響は直接受けていないが、国内相場下落の影響は若干ある。資材や運送費、電気代などの経費が大きな負担。(水産加工業)</li> <li>原材料や資材、運送費、人件費などが上昇する中、できるだけ価格に転嫁したいが、販売量減少の恐れがあり、苦慮している。(食品製造業)</li> <li>タコやタラなどの製品が売れにくくなってきている。また、地域で冷蔵・冷凍倉庫の事業者が減少し、遠方に商品を移さなくてはならず、コストが嵩む。(水産加工業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備投資を先送りし、2年連続で高水準の賃上げを実施、人手不足が深刻化する中、従業員への対応を優先。(食料品製造業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>大企業や取引先の価格転嫁に対する理解度は、以前に比べ改善してきているものの、まだ十分ではない。受注者側の交渉力は弱く、引き続き、行政のバックアップが必要。(機械製造業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で飲食業から離職した人材を採用したが、短期間で辞めてしまった。地元の高校生も少なくなっており、採用に苦慮。(食肉加工業)</li> <li>従業員の半数以上が60歳以上で、若手の殆どが技能実習生といった現状。担い手不足に苦慮している。こうした中、タブレット導入によるペーパーレス化、生産ラインの監視システムやSNSを活用した社内の情報共有など、DX化の取組を進めている。(製造業)</li> </ul>

## 【卸売・小売業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎化が進む地方では、事業量の減少が続き、経営継続に危機感を感じている。(建築材料卸売業)</li> <li>地域の人口が減少する中、顧客数も減少が続く。近年は、暖冬の影響も大きく、売上が減少。(燃料販売業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な価格が高騰する中、同業他社との競争もあり、価格転嫁が進まない。こういう状況でも、賃上げを行っていかないと、新採の確保や人材の係留が難しい。ゼロベースで仕事のやり方を変え、“稼ぐ力”の向上が必要と考えている。(建築資材等卸売業)</li> <li>道内各地への配送に関し、運送会社から運賃改定と引き取り時間の厳守などの要望を受けており、特に繁忙期に関し、顧客との交渉が急務。(建築資材等卸売業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な価格が上昇する中では、設備投資を先送りせざるを得ない。(飲料品卸売業)</li> <li>円安が進み仕入れ商品の価格上昇が続き、経営の負担となっている。(繊維・衣服卸売業)</li> <li>4月以降、物流委託先からの値上げ要請が見込まれる。物流費上昇分を商品に価格転嫁できるか、市場の動向を見極めたい。(食料品小売業)</li> <li>オンラインショップも開設し、様々な地域の方々に利用して頂いている。大手百貨店と連携した取組も行っており、地域の人口が減少を続ける中でも、事業を継続できるよう、工夫を重ねていきたい。(食料品小売業)</li> <li>価格転嫁が進まない中で、円安影響でコストが嵩み、赤字が増加。(建築資材等卸売業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>温暖化による収量減少や品質の低下が経営に大きく影響。さらにエネルギーコストや運送費、人件費などの高騰が負担となって重なるが、末端顧客への価格転嫁が進まないことから、取引先との間でも価格転嫁が進まない。(農畜産物・水産物卸売業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員の仕事に対する意識改革が急務だが、人手不足が深刻化する中、OJTもままならない。社会に入る前のキャリア教育の充実が望まれる。(自動車小売業)</li> </ul>

## 【運輸業】

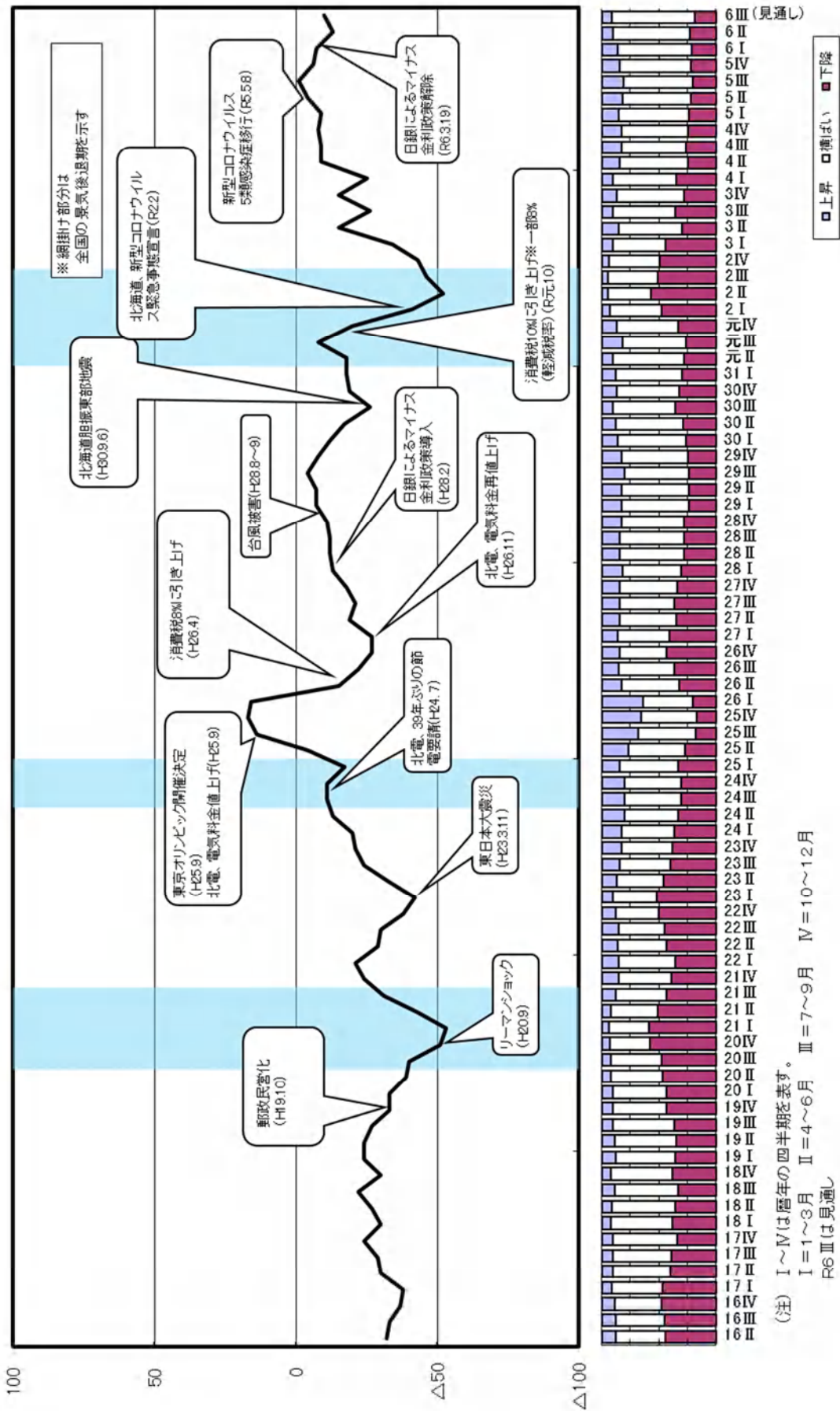
道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>生乳の輸送を行っているが、酪農家の高齢化による廃業が相次ぎ、受注量は減少傾向。運賃値上げについて、要請はしているが、大幅な値上げは難しいのが実情。(運送業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸切バスの需要は急増し、売上も伸びている。現在は、インバウンドの団体ツアーが主力で全体の売上の6割、国内客向けは、エスコンフィールドのツアーが好調。コロナ禍で従業員の3割が辞めてしまい、需要の急増に対応できず、コロナ禍前の7割程度の稼働状況。(運送業)</li> <li>JRが全席指定となり、バスの利用者が増加。物流 2024 年問題については、旅行企画会社など幅広い分野の方々に理解してほしい。(運送業)</li> <li>当社ドライバーは約4分の1が女性。工場と建設現場の短い距離の往復なので、大型免許取得直後でも対応可能。工場から戻った後は、休憩時間を設け、仕事が終われば定時前でも帰宅させており、ゆとりある働き方が、従業員の定着に繋がっていると思う。(運送業)</li> <li>4月からの時間外の上限規制適用後、遠隔地との運送の仕事を受けることができなくなった。当社では一次製品の運送がメインで、季節による繁忙が著しく、対応に苦慮している。(運送業)</li> </ul>

道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月から運賃を見直したので、人件費も上げたいが、設備投資も不可欠であり、経営的に厳しい状況。(運送業)</li> <li>コロナ禍での負債が大きく、資金繰りが悪化。価格転嫁も進まず、当面は厳しい状況が続く見通し。(運送業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷主との交渉による運賃の値上げがなかなか進まない。標準的な運賃が制定されているが荷主に対する強制力は無いので、例えば特定貨物について、燃料代やその他経費についても加味された最低運賃の制定といった施策があればよいと思う。(運送業)</li> </ul>
十勝	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の高齢化が進む中、思うように採用も進まず、人員確保に苦慮。(運送業)</li> <li>制度上、従業員や地域の実態にリアルタイムで対応した増車ができない。ドライバー不足が深刻化する中、台数要件など、制度の見直しも必要だと思う。(タクシー運送業)</li> </ul>
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> <li>運送業においても働き方改革は当然のこと。これを契機に、運送業界、ひいては社会全体の意識が変わっていくことを期待している。これまで、安い運賃でドライバーが身を削って負担してきた実態を広く世の中に知ってもらうことが必要。(運送業)</li> </ul>

### 【サービス業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーヒー豆を中心に円安の影響を大きく受けており、電気代等の高騰も経営に大きく影響。値上げせざるを得ない状況だが、顧客が離れていかないよう、付加価値向上を図り、お客様の理解を得るよう努めている。(飲食業)</li> </ul>
道央	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光、宿泊業に対する、就業志望度の低下を抑止するための施策、外国籍スタッフ受入れや人材派遣会社への手数料などに対する助成を検討してほしい。(宿泊業)</li> <li>地域では、同業他社の新規開業や設備投資が続き、競争が激化している。インバウンド客についても国内他都市で差があり、営業的に不安定な状況が続く。行政にはレジャー需要喚起をしてほしい。(宿泊業)</li> <li>インバウンド需要が下支えとなり売上は大きく伸長。今後も好調の見込み。(飲食業)</li> <li>コロナ5類移行後も客足の戻りが悪い。セルフオーダーシステムを導入し、接客時間を削減した分を集客活動に充てている。(飲食業)</li> <li>採用条件の緩和、待遇改善などを行っても、採用に繋がらない。近年の新卒採用には、親の意見が影響しているとのことで、会社のイメージアップや知名度向上にも力を入れている。(コンサルタント業)</li> <li>事業所の規模を拡大したことで固定費は上がったが、利益が右肩上がりで見通しも良好。新卒者の採用もできた。(サービス業)</li> <li>基本報酬の引き下げや燃料費など高騰の影響を受け、収益減が見込まれる。多くの労力が必要だが、求人を出しても、採用に繋がる応募が無く、また、従業員の離職も多いことから、人手不足が続く。(社会福祉事業)</li> </ul>
道北	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー不足が深刻化しており、ホテルが有料で送迎できる制度が必要。(宿泊業)</li> <li>観光・旅行者向けの利用しやすい補助事業を実施して欲しい。また、観光事業者の人手不足に対する積極的な取組をお願いしたい。(宿泊業)</li> <li>人手不足のため、営業時間を短縮せざるを得ず、売上が減少している。仕入れ単価も上昇が続いており、値上げを検討中。(飲食業)</li> <li>アドベンチャートラベルの取組が進む中、円安の効果もあり、海外のお客様からの申し込みが増加。(観光ガイド業)</li> </ul>
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍に創業し、当初は厳しい経営状況だったが、このところ、上向きの状況が続いている。(宿泊業)</li> </ul>

8 業況感の長期推移

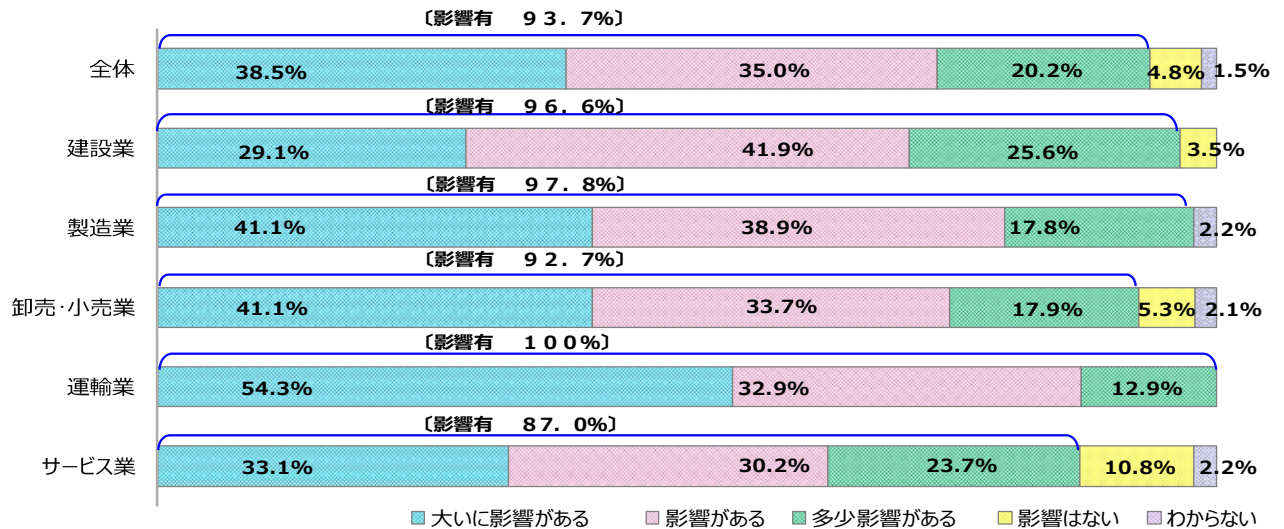


## 1 原油・原材料価格高騰の影響について

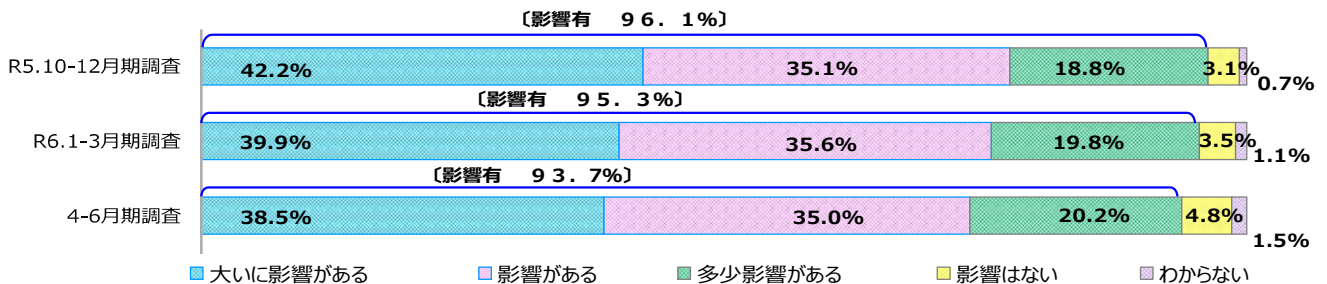
## (1) 経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響について、全体では、『影響がある』（「大いに影響」、「影響」、「多少影響」）と回答した企業の割合は93.7%。

業種別では、運輸業が100%と最も高く、最も低いサービス業でも87.0%と、すべての業種で高い割合。

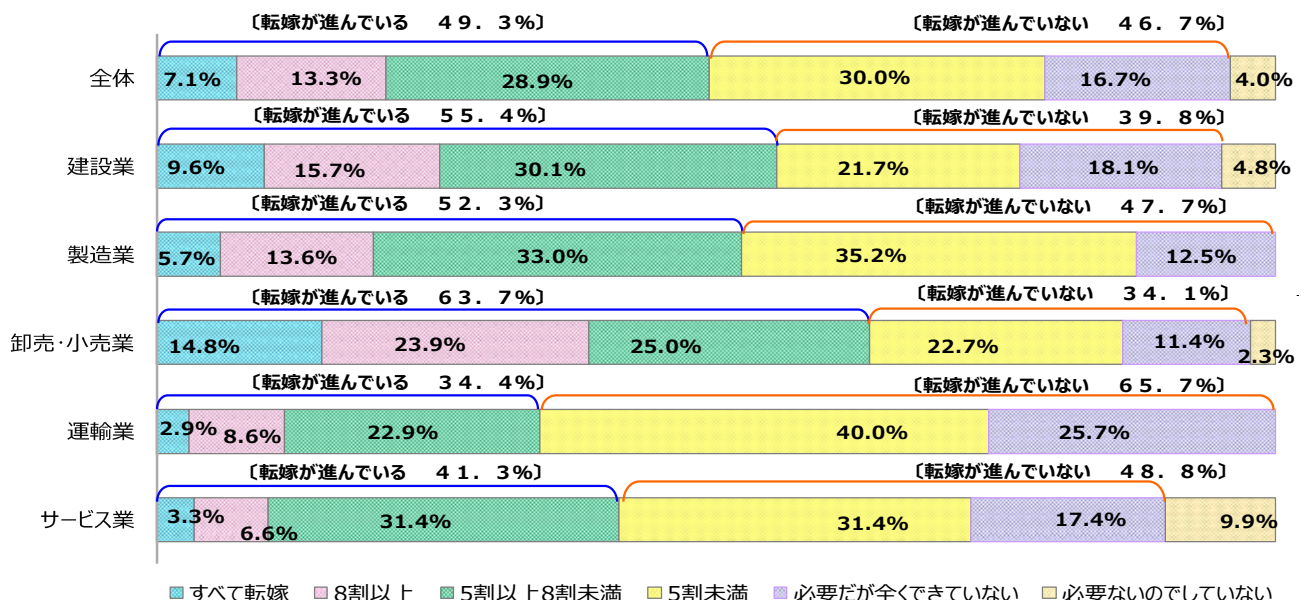


調査開始以降、『影響がある』と回答した企業の割合は、9割を超える高い水準で推移。

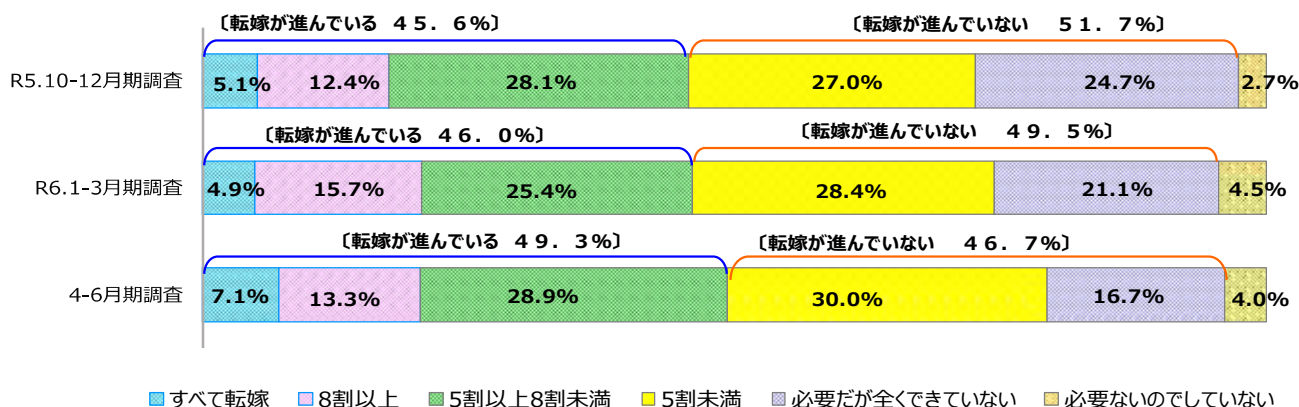


## (2) 価格転嫁の状況

全体では、『価格転嫁が進んでいない』（「5割未満」、「必要だが全くできていない」）と回答した企業の割合は46.7%。特に、運輸業（65.7%）では、価格転嫁が進んでいない割合が高く、依然として、業種間の格差が存在。

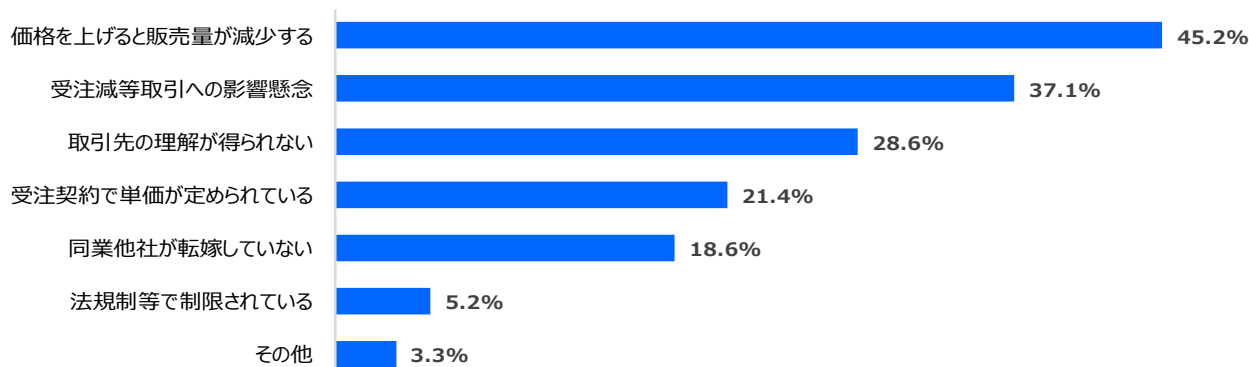


調査開始以降、徐々に価格転嫁は進んでいるものの、依然として『価格転嫁が進んでいない』企業が半数程度存在。このうち『必要だが全くできていない』企業は1割を超えている(16.7%)。



### (3) 価格転嫁が難しい理由 (複数回答)

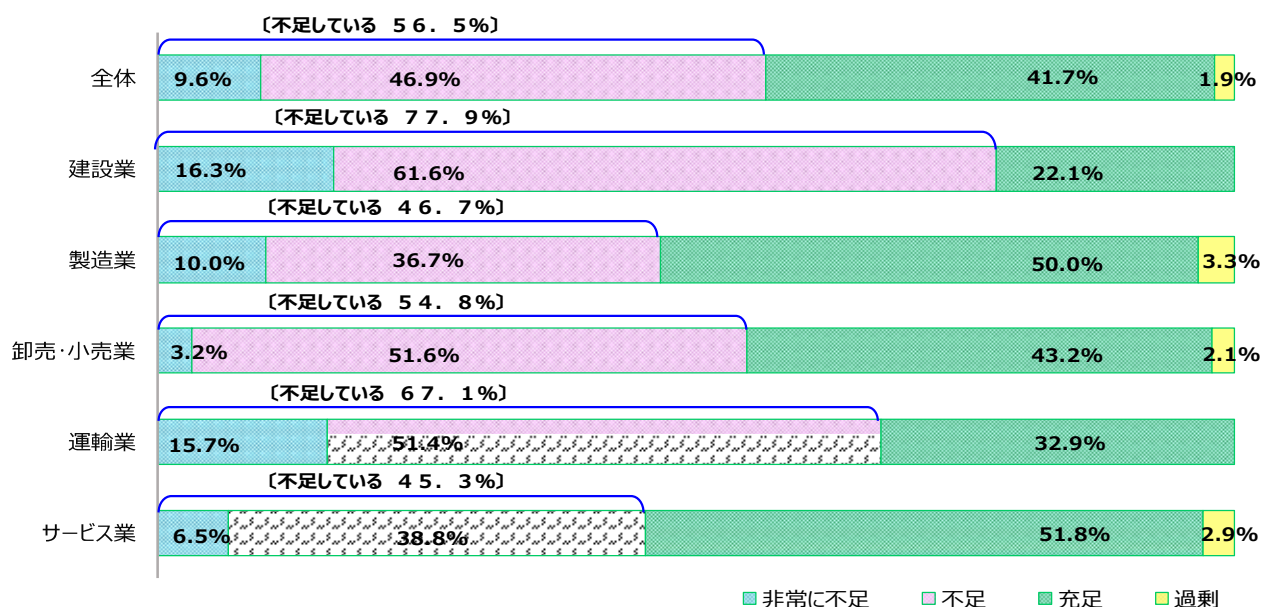
価格転嫁が難しい理由について、最も多かった回答は、『価格を上げると販売量が減少する』(45.2%)で、次いで『受注減など取引への影響を懸念』(37.1%)、『取引先の理解が得られない』(28.6%)が続く。



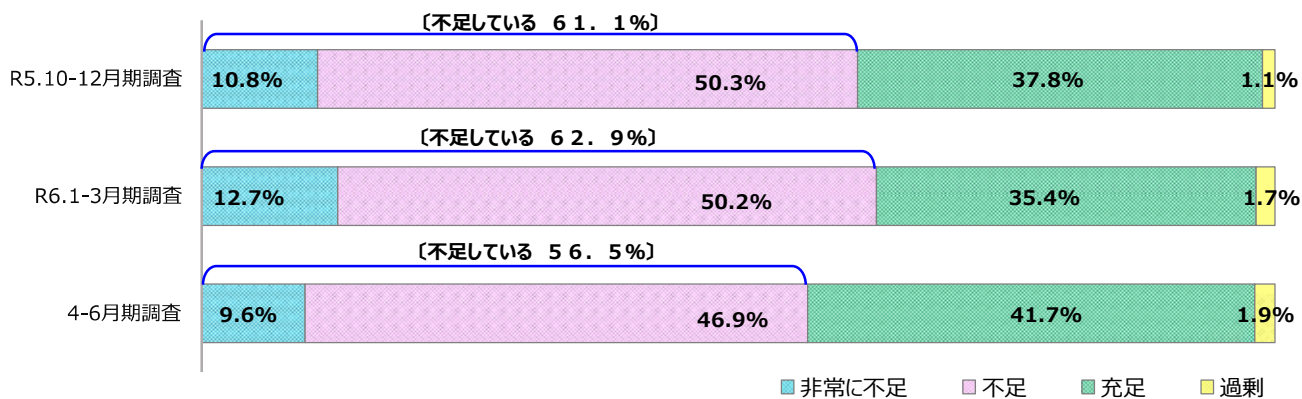
## 2 人手不足の状況について

### (1) 正規従業員の充足の度合い

正規従業員の充足度合いについて、全体では、『不足している』(「非常に不足」、「不足」と回答した企業の割合は56.5%)と回答した企業の割合は56.5%。業種別では、建設業(77.9%)が最も高く、次いで運輸業(67.1%)が続く。

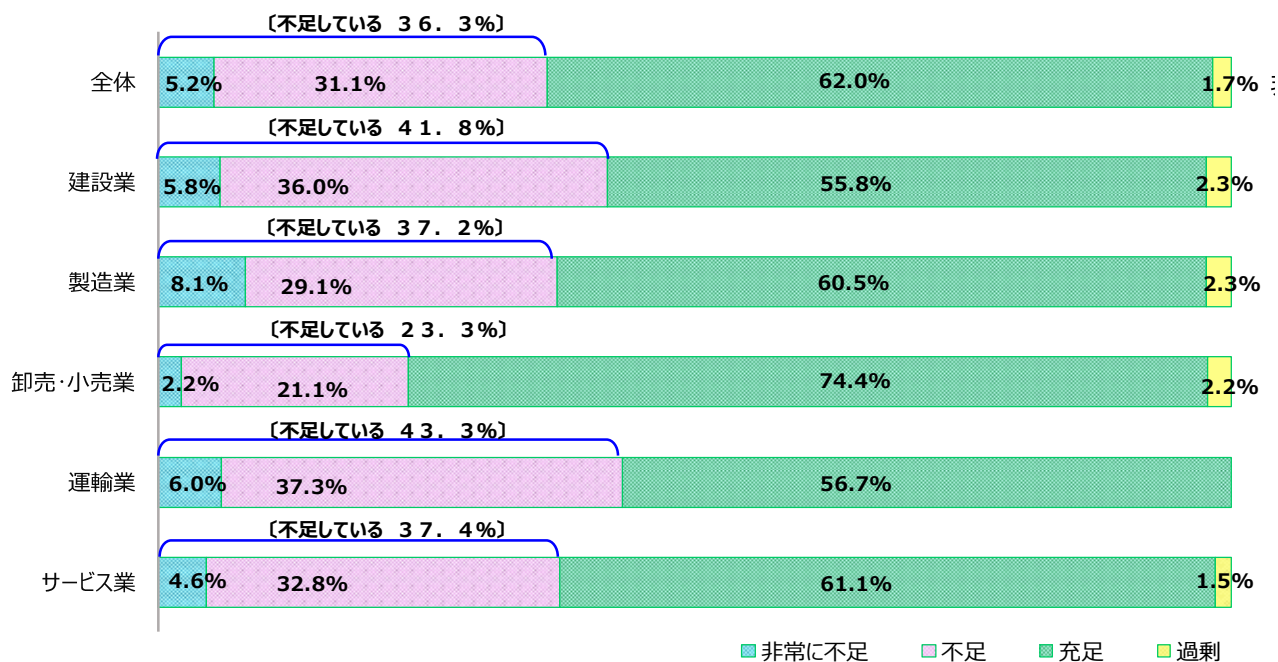


『不足している』と回答した企業の割合は、前回調査から6.4ポイント縮小。

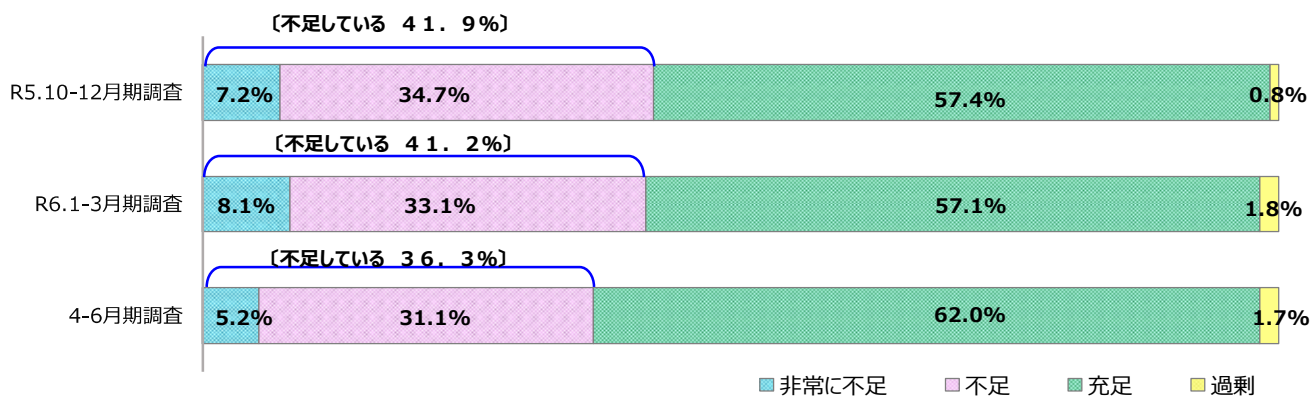


## (2) 非正規従業員の充足の度合い

非正規従業員の充足度合いについて、全体では、『不足している』と回答した企業の割合は36.3%。業種別では、運輸業(43.3%)が最も高く、次いで建設業(41.8%)が続く。



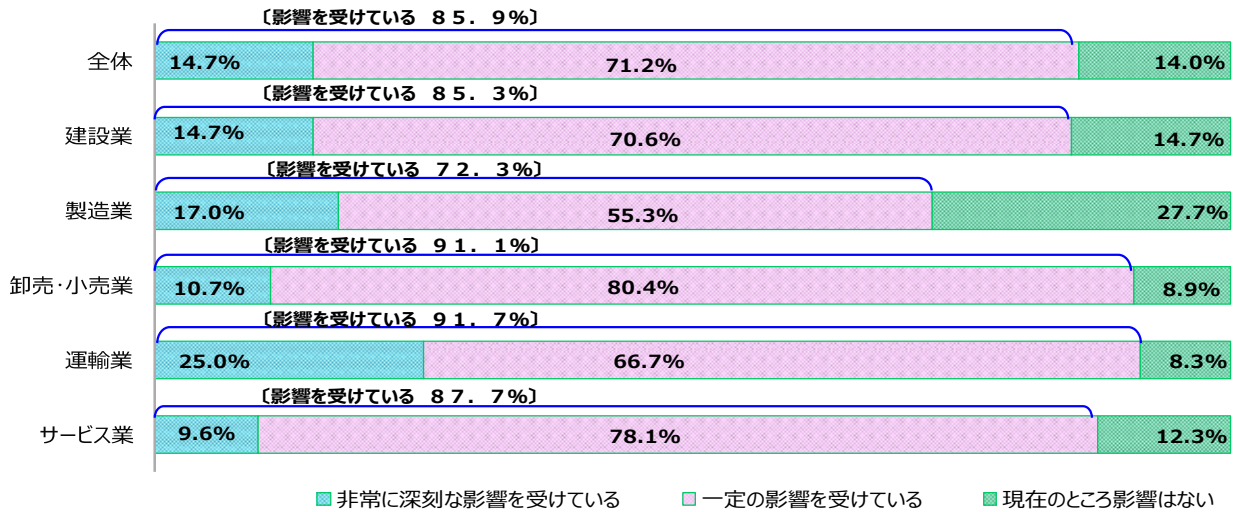
『不足している』と回答した企業の割合は、前回調査から4.9ポイント縮小。





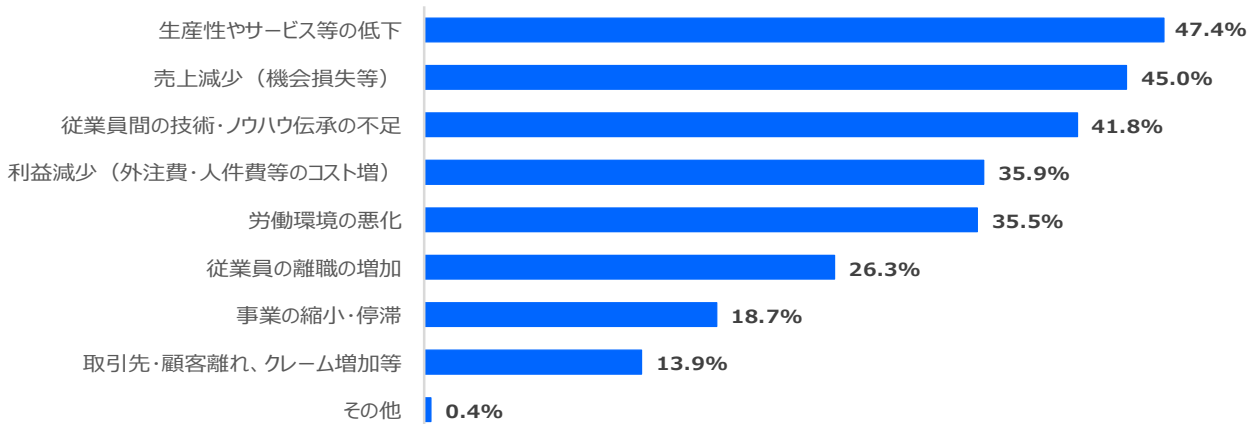
### (3) 人手不足の影響の程度

人手不足の影響について、全体では、『影響を受けている』（「非常に深刻な影響」、「一定の影響」）と回答した企業の割合は85.9%。  
業種別では、運輸業(91.7%)が最も多く、次いで卸売・小売業(91.1%)が続く。



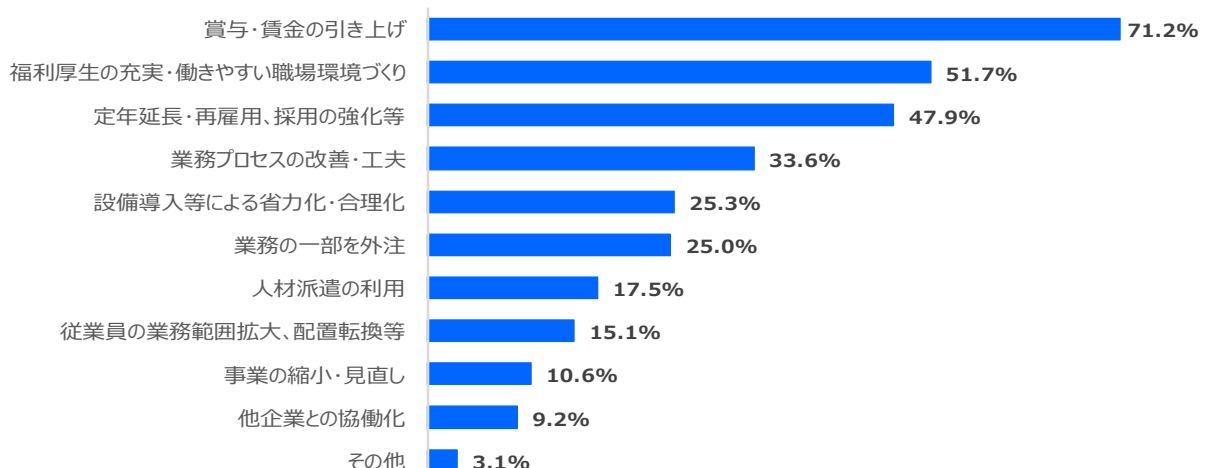
### (4) 人手不足の影響に関する具体的な内容（複数回答）

人手不足の影響について、最も多かった回答は、『生産性やサービス等の低下』（47.4%）で、次いで『売上減少（機会損失等）』（45.0%）、『従業員間の技術・ノウハウ伝承不足』（41.8%）が続く。



### (5) 人手不足の影響緩和対策（複数回答）

人手不足の影響緩和対策として、最も多かった回答は、『賞与・賃金の引き上げ』（71.2%）、次いで『福利厚生充実・働きやすい職場環境づくり』（51.7%）が続く。

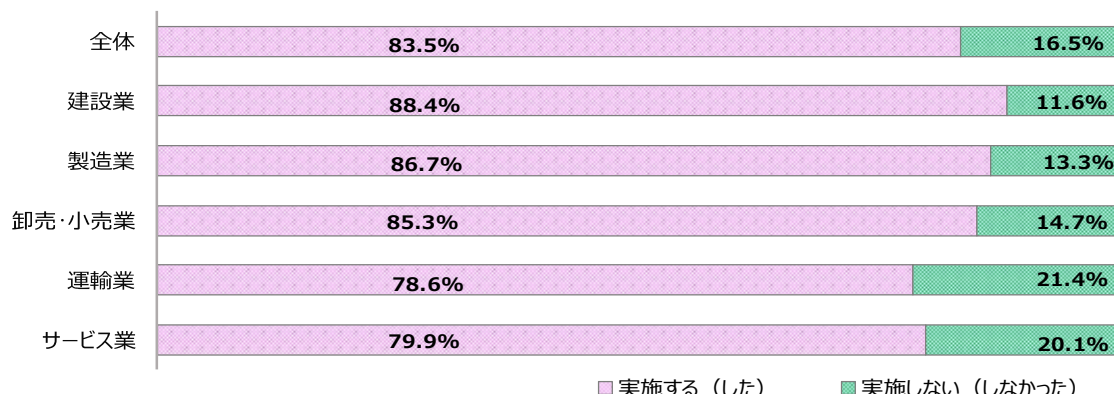


### 3 賃金引き上げの状況について

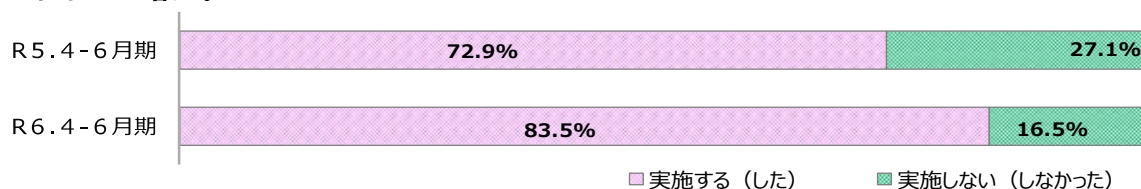
#### (1) 賃上げの実施状況

全体では、今年(R6年)、『賃上げを実施する(した)』と回答した企業の割合は83.5%、『実施しない(しなかった)』と回答した企業の割合は16.5%だった。

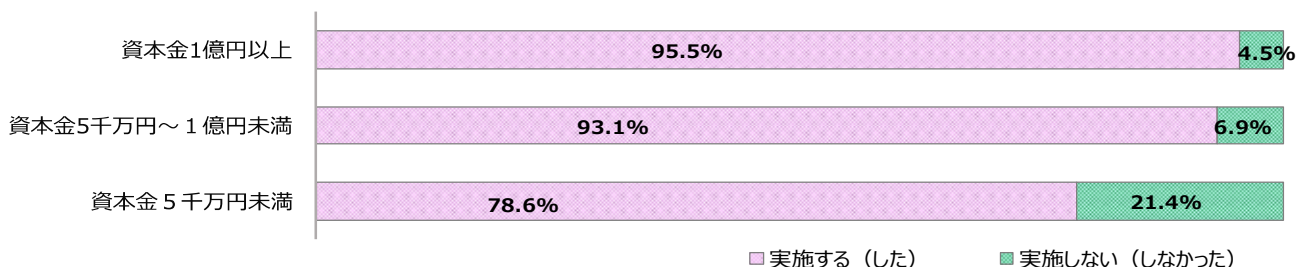
業種別では、建設業(88.4%)で実施率が高く、次いで、製造業(86.7%)と続き、運輸業が最も実施率が低く(78.6%)、業種によって、実施率に差が出た。



『今年(R6年)、賃上げを実施する(した)』と回答した企業は、前回調査(R5.4-6月期)から10.6ポイント増加。

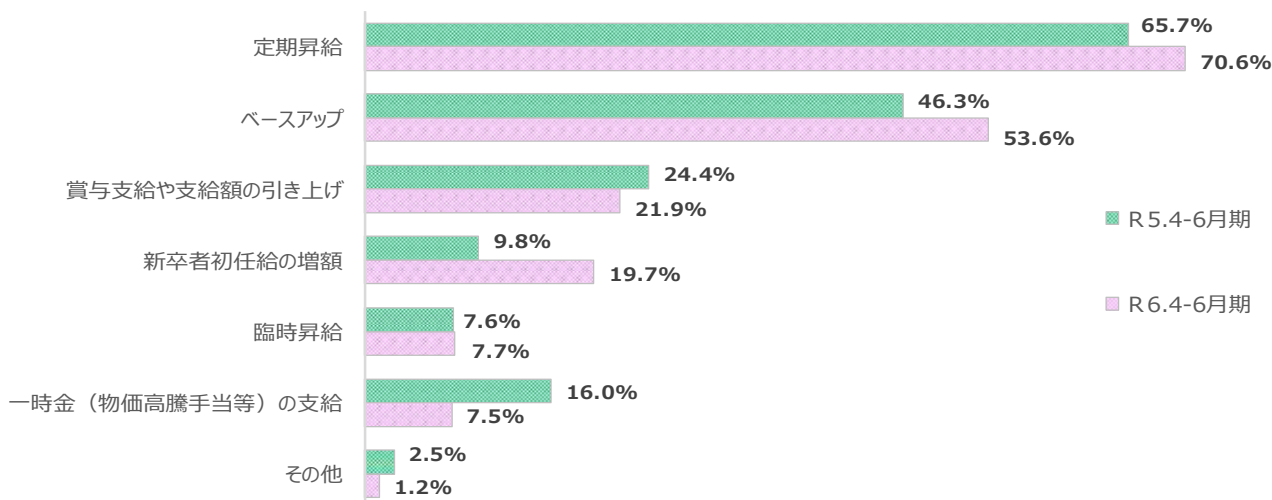


規模別では、賃上げを『実施する(した)』と回答した企業の割合は、「資本金1億円以上」の95.5%に対し、「5千万円以上～1億円未満」では93.1%、「5千万円未満」では78.6%と、規模によって、実施率に差が出た。



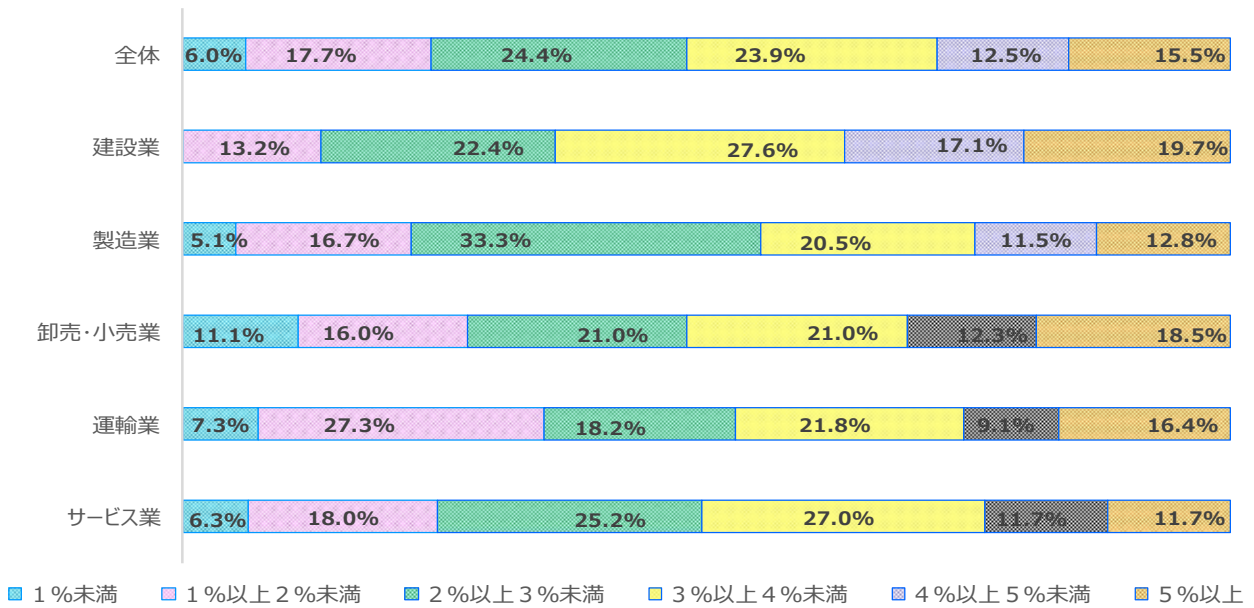
#### (2) 賃上げの内容

今回、賃上げの内容で最も多かった回答は、「定期昇給」(70.6%)で、次いで「ベースアップ」(53.6%)が続く。

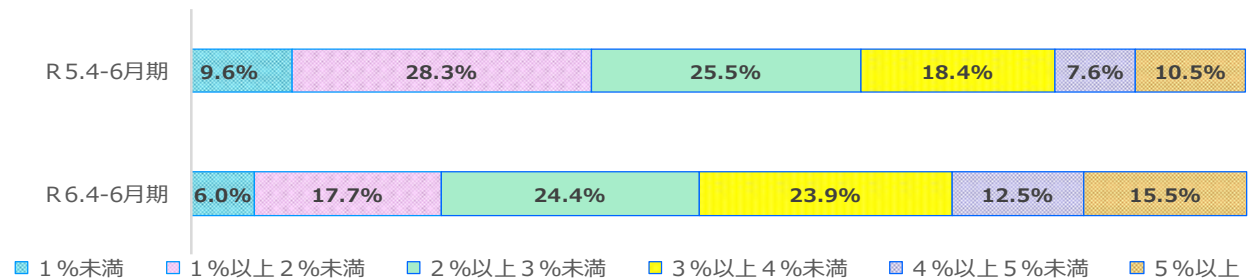


(3) 賃上げ率（年収換算）

今回、賃上げ率は、全体では『2%以上3%未満』（24.4%）と最も多く、次いで『3%以上4%未満』（23.9%）が続く。また、「5%以上」の賃上げを行う企業は15.5%であった。

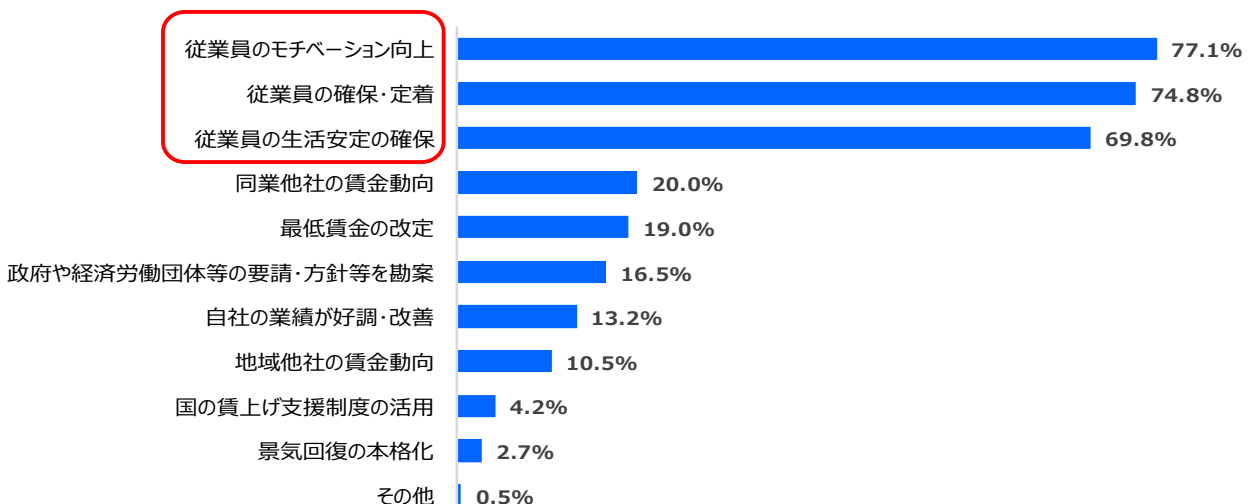


前回調査（R5.4-6月期）から、『3%以上4%未満』（5.5ポイント増）、『4%以上5%未満』（4.9ポイント増）、『5%以上』（5ポイント増）が、大きく増加。



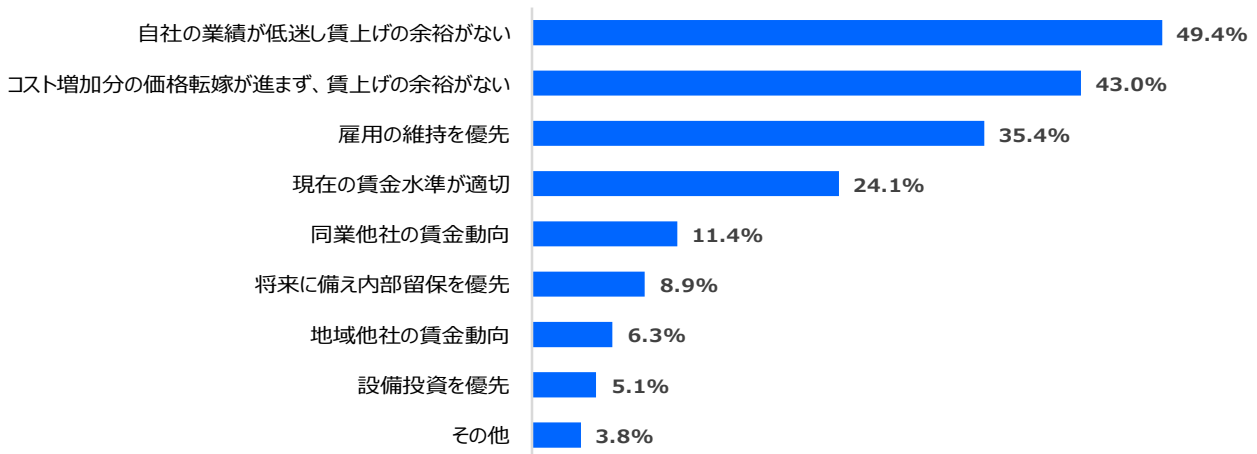
(4) 実施理由や実施にあたって重視した要素（複数回答）

実施理由等は、『従業員のモチベーション向上』（77.1%）が最も多く、次いで『従業員の確保・定着』（74.8%）、『従業員の生活安定の確保』（69.8%）が続き、前回調査同様に、人材確保に関わる回答が上位を占めた。



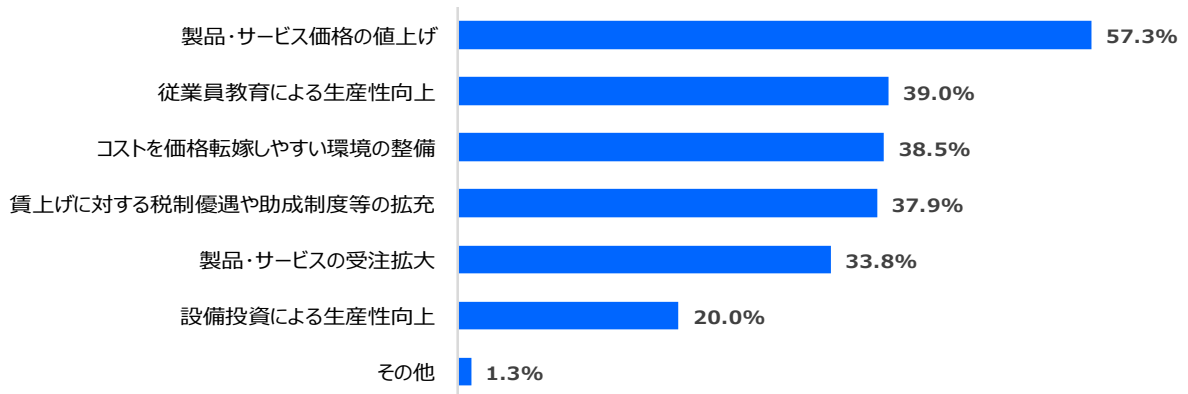
(5) 実施しない（しなかった）主な理由（複数回答）

実施しない（しなかった）理由等は、『自社の業績が低迷し、賃上げの余裕がない』（49.4%）が最も多く、次いで『コスト増加分の価格転嫁が進まず、賃上げの余裕がない』（43.0%）が続く。



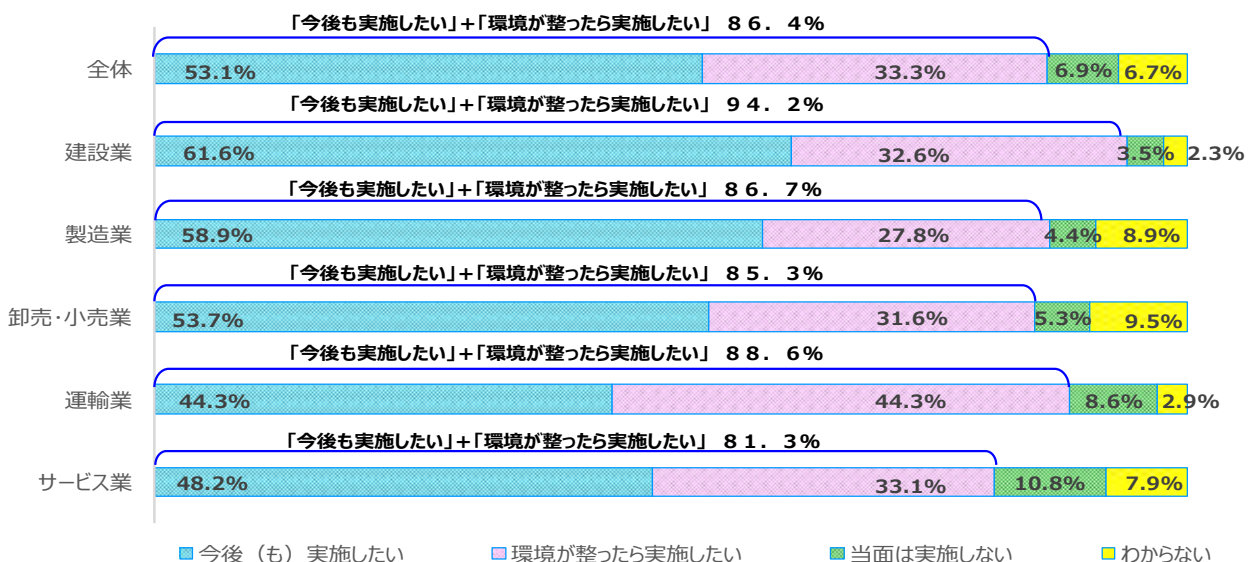
(6) 賃上げ実施にあたって必要なこと（複数回答）

賃上げ実施にあたって必要なこととして、『製品・サービス価格の値上げ』（57.3%）が最も多く、次いで『従業員教育による生産性向上』（39.0%）、『コストを価格転嫁しやすい環境の整備』（38.5%）と続く。



(7) 今後の賃上げの意向

今後の賃上げの意向としては、全体では、「今後も実施したい」（53.1%）と、「環境が整ったら実施したい」（33.3%）を合わせ、86.4%の企業が今後の賃上げに前向きな姿勢。すべての業種で8割を超え、積極的な姿勢。



## 4 調査方法

### 1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

### 2 調査時点

令和6年6月30日

### 3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

### 4 調査対象及び回答企業数

区分	調査対象 企業数(A)	回 答 企業数(B)	回答率
			(B/A・%)
総 計	900	480	53.3%
札幌市を除く 札幌市	701	383	54.6%
	199	97	48.7%
業 種	建設業	86	68.8%
	製造業	90	60.0%
	卸売・小売業	95	50.5%
	運輸業	70	53.4%
	サービス業	139	45.4%
資 本 金	5千万円未満	327	52.9%
	5千万円以上～1億円未満	87	55.8%
	1億円以上	66	52.4%
地 域	道南	53	48.6%
	道央	210	55.0%
	札幌市を除く 札幌市	113	61.7%
	199	97	48.7%
	道北	75	56.8%
	オホーツク	40	44.9%
	十勝	56	59.6%
	釧路・根室	46	48.9%

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局  
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局  
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局  
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局  
 [十勝]・・・十勝総合振興局  
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

### 5 BSI(Business Survey Index)指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して(景況感は前期)、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各BSI指標を次により算出。

$$BSI = (\text{「上昇」とする企業の割合}(\%)) - (\text{「下降」とする企業の割合}(\%))$$

$$(-100 \leq BSI \leq 100)$$

#### 【計算例 (企業数: 200 社)】

業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「下降」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 - \frac{60 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感 B S I はマイナス 20 ※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。 **北海道**

**企業経営者意識調査（第142回）**

令和6年7月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課

T E L 011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html>